

(2) 教育プログラム掲載団体等一覧 (目次)

頁	教育プログラム名	主な対象						団体名等
		未就学児	小学生	中学生	高校生	コーディネーター	その他	
あ								あ
24	ロボット&プログラム体験教室		○					アイエックス・ナレッジ株式会社
25	未来実現 IT 教室「みんなでチャレンジ! IT エンジニア」		○					伊藤忠テクノソリューションズ株式会社
26	EQ 学習 - ファンラーニングプログラム	○	○	○				ES デザイン株式会社
27	SMBC グループ金融経済教育セミナー			○	○	○	○	SMBC コンシューマーファイナンス株式会社
28	「南極くらぶ」～<南極をもっと知ろう>～		○	○	○			NEC ネットエスアイ株式会社
か								か
29	財政教育プログラム		○	○	○		○	財務省関東財務局東京財務事務所
30	キッコーマンしょうゆ塾		○					キッコーマン株式会社
31	わく WAKU デパートへようこそ			○	○			特定非営利活動法人キャリア base
32	株の力			○	○			株式会社 教育と探求社
33	自立した消費者となるために～キャッシュレスの上手な使い方～			○	○			株式会社クレディセゾン
34	らしさ発見プログラム		○	○				特定非営利活動法人 xTreeE (クロスツリー)
さ								さ
35	デカトワル「元刑事と元不良が伝える 心と栄養のはなし」		○	○	○		○	一般社団法人 Japan Holistic Fellows
36	考働学			○	○			生涯教育支援「たら×れば」
37	いろんな仕事の裏側にある楽しい仕事		○	○				株式会社ジョイゾー
38	みんなで考えよう! SDGs		○	○	○			一般社団法人新宿ユネスコ協会
39	～社会保険と生命保険が学べる講師派遣～「リスクに備える」			○	○			公益財団法人 生命保険文化センター
40	知っておきたい! 人生のピンチに役立つ「社会保障制度」			○	○	○	○	特定非営利活動法人 Social Change Agency
41	ライフプランニング授業		○	○	○	○	○	ソニー生命保険株式会社
た								た
42	体験型安全教育プログラム (犯罪編・SNS 編・地震編)	○	○	○	○	○	○	特定非営利活動法人体験型安全教育支援機構
43	ディレクトフォース理科実験グループ		○	○				一般社団法人 ディレクトフォース理科実験グループ
44	TERAKOYA PROJECT			○	○			NPO 法人テラコヤ
45	スクールマネ部! 授業支援プログラム ～シェア先生の経済教室～		○	○	○			株式会社東京証券取引所 (日本取引所グループ)
46	言語聴覚士のしごと紹介		○	○	○	○	○	一般社団法人 東京都言語聴覚士会
47	働くこと (ワークルール) と社会保険		○	○			○	東京都社会保険労務士会
48	「助け合う社会を支える一人になる」 赤十字や血液事業 (献血と輸血) から考えるわたしたちの社会			○	○			東京都赤十字血液センター
49	しごととマップを作ろう!		○	○	○	○		(株) トップアスリート (13 歳のハローワーク公式サイト)
な								な
50	おもいやりの心を育む「おも活」		○	○				公益財団法人 日本ケアフィット共育機構
51	わたしのライフデザイン～みらいとつながる～			○	○			日本生命保険相互会社
52	安全教育プログラム「ぼうさい探検隊」		○					一般社団法人日本損害保険協会
53	お互いを尊重しあえるコミュニケーションプログラム		○	○	○			一般社団法人日本ナンバーワントレーナー協会
54	SDGs × 自己肯定感と多様性を体感する授業		○	○	○	○		NPO 法人日本ピーススマイル協会
55	寄付の教室		○	○	○	○	○	日本ファンドレイジング協会
56	弁理士による知的財産特別授業		○	○	○			日本弁理士会関東会
57	楽しいお箸講座		○					特定非営利活動法人 日本マナー・プロトコル協会

凡例	対象者	未	高	対象分野	学	区分	講	他
		小	中		校		師	
		未就学児	高校生		学校教育 (授業・クラブ活動等)		講師派遣	その他
		小学生	コーディネーター		学校外教育 (放課後子供教室等)		リモート・オンライン 提供可	
		中学生	その他		研修 (教員・PTA対象等)		教材提供	

頁	教育プログラム名	主な対象					団体名等
		未就学児	小学生	中学生	高校生	コーディネーター その他	
は							は
58	助産師によるいのちの話～親子で聞く性教育～		○	○	○	○	一般社団法人ファミリード
59	情報収集・整理力アップワークショップ			○	○		一般社団法人 Fora
60	世界の現状を知り、自分にできることを考えてみよう！		○	○	○	○	特定非営利活動法人フリー・ザ・チルドレン・ジャパン
61	伝統の赤、「紅（べに）」を知ろう～つくる技とつかう心～		○	○	○	○	紅ミュージアム
ま							ま
62	カードゲームで学ぶキャリア図鑑			○			株式会社マイナビ
63	豊かな演奏体験の創出と 専門家による指導による吹奏楽支援プログラム			○		○	株式会社 massenext
64	何を書いたらいいか悩まない！ 空色ことば教室オンライン「読書感想文ツアーズ」		○	○	○	○	NPO 法人マナビエル
65	キャッシュレス決済のしくみとクレジットカード			○	○		三井住友カード株式会社
66	三菱自動車「体験授業プログラム」(SDGs 編)		○				三菱自動車工業
67	特技で夢をかなえる～kaigo というお仕事～		○	○	○	○	未来をつくる kaigo カフェ
68	考えよう！成長期の体づくり (中学生)		○	○	○		株式会社 明治
や							や
69	職業人なりきりインタビューゲーム		○	○	○	○	NPO 法人夢さがしプロジェクト
70	おしごとなりきり出前道場		○	○			夢★らくぞプロジェクト
ら							ら
71	～法律のひろば～ THE 法教育		○	○	○	○	一般社団法人リーガルパーク
わ							わ
72	ワコール ツボミスクール		○	○		○	株式会社ワコール

プログラム名	EQ 学習 - ファンラーニングプログラム		
団体名	ES デザイン株式会社		区分 講
対象者	未小中	対象分野	学校 学外 研修 課題曲を変えれば、大人に対しても自己理解や自己開放を促すことができます。

プログラムのねらい
エンターテインメントの音楽とダンスを通して、「自己表現」「思考力」「想像力」「主体性」「多様な考え方」を引き出し、キャリア教育に必要な「自己理解」「社会・職業理解」を育てます。

プログラムの内容 必要コマ数 2コマ

■プログラムの流れ

- ① 課題曲を歌う（感情開放・自己表現）
プログラムの導入として、子供たちが知っている課題曲（J-POP）を参加者みんなで歌い緊張を和らげます。
- ② 歌詞から将来に繋げる（自己理解・思考力）
次に歌詞一つ一つに、自己／他者／社会を考える質問を投げかけ自由に答えてもらいます。
その際、人の答えを邪魔しない、笑わない、発表し終わったら全員で拍手といった決まり事を守ります。
- ③ チャレンジしたい夢を考える（想像力・主体性）
サビの歌詞まで質問が終わったら、将来の夢を考えてもらい紙に書きます。
- ④ 課題曲でダンス（感情開放・自己表現）
たくさん考えて疲れてくるころなので、簡単なダンスで課題曲をみんなで踊り、フラストレーションを発散します。
- ⑤ 夢の発表（自己表現・多様な考え方）
もう一度将来の夢を見直してもらい、叶えるために今何が出来るかを考えます。
そして、夢と目標を一人ずつ発表して、みんなで讃えあいフィニッシュ！



令和4・5年度実績	<input type="checkbox"/> 小学校	<input type="checkbox"/> 中学校	<input type="checkbox"/> 高校	<input type="checkbox"/> 特別支援学校
	<input checked="" type="checkbox"/> その他（ ）			
	令和4年度実績（都内）	校（回）	令和5年度実績（都内）	校（回）
	<input type="checkbox"/> 教科（ ）	<input type="checkbox"/> 道徳	<input type="checkbox"/> 総合的な学習の時間	<input checked="" type="checkbox"/> 特別活動（クラブ活動、生徒会活動等）
	<input type="checkbox"/> 教育課程外（放課後子供教室、夏休み等の長期休業期間等）		<input type="checkbox"/> 教員対象研修	<input type="checkbox"/> PTA等保護者対象研修
	<input checked="" type="checkbox"/> 学童クラブ・児童館等のイベント		<input type="checkbox"/> その他（ ）	

支援活動の概要紹介

数値で測れない非認知能力（EQ）を育てる学習プログラムとして、誰もが楽しめるエンターテインメントの力を用いました。ファンラーニングプログラムには、思考力・表現力・判断力を育て、自分自身や人・社会と向き合うプログラムが数多くあります。音楽とダンス以外にもお芝居やゲームで、様々な能力を引き出す取り組みを行っております。詳しくは、お問い合わせください。

対応可能な時期	日程が合えば随時可能	必要経費	有料 ダンス講師料として1回1万円をお願いしたく存じます
その他 会場・定員・必要備品 などについて	プロジェクター、スクリーン、スピーカーをご用意ください		
連絡先	部署名・担当者	キャリア教育事業部 山川	
	プログラム紹介 WEB	https://esd-career.com/fun-learning-program.html#entertainment	
	電話	090-5311-7931	
	e-mail	yamakawa@esd-career.com	

プログラム名	SMBC グループ金融経済教育セミナー		
団体名	SMBC コンシューマーファイナンス株式会社	区分	講 義
対象者	<input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> 他	専門学校生・大学生・教員・保護者・一般参加者向けも承っております。	対象分野 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 研修

プログラムのねらい

- ・人生 100 年時代を迎えるにあたり、金融リテラシーの必要性が高まっています。
- ・お金の健康を高めるため（ファイナンシャルウェルビーイング）のお金に関する正しい知識と判断力を習得する支援をいたします。
- ・資産形成やライフプランなど、学習指導要領に沿ったプログラムとなっています。

プログラムの内容

必要コマ数 1コマ

■プログラム（アクティブラーニング）

<導入>

- ①幸福とお金の関係について考える
- ②幸福を実現するための計画作りを体験する
- ③お金について積極的に学ぶ姿勢を育む

<貯める>

- ①家族における消費項目とその値段を知る
- ②方程式で先取り貯蓄の利点を理解する
- ③計画性を大切にする姿勢を育む

<借りる>

- ①貸す側の思考を体感する
- ②信用という概念を理解する
- ③計画性を持った判断をしようとする

■プログラム（講義型）

<ローン・クレジット>

- ・成年年齢引き下げの動向を踏まえ、「契約」することの意味について理解します。
- ・キャッシュレス社会の中でより身近となったローン・クレジットについて、しくみや留意点を学びます。
- ・資金準備方法の選択肢のひとつとして、計画的で健全な利用ができるように支援します。

<生活設計・家計管理>

- ・夢の実現に向けて将来設計を行い、必要となる資金を確認します。
- ・日々の生活にかかる費用を確認し、計画的な貯蓄をしていくための方法を身につけます。

<金融トラブル>

- ・若年層をターゲットとした金融トラブルについて、手口と対応策を学びます。
- ・実例等から、被害に遭わないようにするための対処法について考え、トラブルの未然防止を図ります。

<資産形成>

- ・資産形成の役割や必要性を学びます。
- ・金融商品の特徴や、投資を行う上でのリスクやリターンについて理解します。
- ・投資をする上でのポイント（長期投資・分散投資・積立投資）を身につけます。

【授業スライドイメージ】



令和4・5年度実績	<input checked="" type="checkbox"/> 小学校 <input checked="" type="checkbox"/> 中学校 <input checked="" type="checkbox"/> 高校 <input type="checkbox"/> 特別支援学校 <input checked="" type="checkbox"/> その他（専門学校・大学）	令和4年度実績（都内） 151校（回）	令和5年度実績（都内） 152校（回）
	<input checked="" type="checkbox"/> 教科（社会科・家庭科） <input type="checkbox"/> 道徳 <input checked="" type="checkbox"/> 総合的な学習の時間 <input type="checkbox"/> 特別活動（クラブ活動、生徒会活動等） <input checked="" type="checkbox"/> 教育課程外（放課後子供教室、夏休み等の長期休業期間等） <input checked="" type="checkbox"/> 教員対象研修 <input checked="" type="checkbox"/> PTA等保護者対象研修 <input checked="" type="checkbox"/> 学童クラブ・児童館等のイベント <input type="checkbox"/> その他（ ）		

支援活動の概要紹介

ファイナンシャルウェルビーイングを実現するために必要な、金融知識の習得を目的とした金融経済教育セミナーを行っています。

対応可能な時期	日程が合えば随時可能 全校生徒、学年単位等、必要に応じてご相談を承っております。	必要経費	無料
その他 会場・定員・必要備品 などについて	プロジェクター・スクリーン・マイク・パソコンなどをお借りする場合がございます。		
連絡先	部署名・担当者	東京お客様サービスプラザ 陸井菜津子	
	プログラム紹介 WEB	https://www.promise-plaza.com/	
	電話	03-6877-4856	
	e-mail	plaza_tokyo@promise.co.jp	

プログラム名	『南極くらぶ』 ～<南極をもっと知ろう>～		
団体名	NEC ネットズエスアイ株式会社	区分	講 義
対象者	<input type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 高 高校生は、キャリア教育の要素を盛り込むなど内容検討する必要があるため要相談。	対象分野	<input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 学外
			通常は授業支援を対象。SDGsを注視した授業、職をテーマにグループ討議も可能

プログラムのねらい

南極の自然が織りなす様々な気象現象や極寒地域で生存する動物、厳しい南極での生活と普段の生活の違い等、驚きと感動を伝え、自然科学への興味や環境問題への関心を高める。
 また、「夢を叶える」をテーマに、南極越冬隊員の夢に向かって努力を続けた社員の成し遂げる力にまつわるエピソードを交え、将来のキャリア形成の一助とする。

プログラムの内容 必要コマ数 2コマ

NEC ネットズエスアイ(株)は、国立極地研究所経由で、従業員を南極に越冬隊員として派遣し、昭和基地の多目的衛星データ受信システムの運用・保守点検等に当たっています。
 越冬隊への参加経験を持つ社員が講師として登壇します。南極での生活の様子、氷を砕いて進む「砕氷艦しらせ」の勇姿、オーロラ・気候・動物などの自然科学を講師自ら撮影した動画や音声を変えて説明する他、南極クイズなども実施し聞いて、見て、答えて飽きないプログラム構成にしています。その他にも隊員の防寒服を着用する時間も設けるなど体験も組み込んでいる出前授業です。遠地の場合オンラインで授業を開催することを可能にしています。2023年度には文科省による「青少年の体験活動推進企業表彰」にて優秀賞に選ばれました。

- 所要時間：90分（45分×2）
 ■プログラムの流れ
- ①導入（5分）：講師、自己紹介（名前、会社名、仕事、趣味、南極への動機等）
 - ②講義（40～60分）：南極の自然、動物、生活や南極での仕事について写真や動画を交えて（途中クイズなども入れます）紹介
 - ③体験（20分）：防寒着に触れ、厚さや重さを実感後、防寒着の横に並び記念撮影
 - ④まとめ、質問（10～15分）：講師への質問



授業の様子 防寒着体験の様子 オンライン授業

令和4・5年度実績	<input checked="" type="checkbox"/> 小学校 <input checked="" type="checkbox"/> 中学校 <input type="checkbox"/> 高校 <input type="checkbox"/> 特別支援学校 <input checked="" type="checkbox"/> その他（自治体開催イベント、公民館 リサイクルセンター等） 令和4年度実績（都内）16校（回） 令和5年度実績（都内）19校（回）
	<input type="checkbox"/> 教科（ ） <input type="checkbox"/> 道徳 <input checked="" type="checkbox"/> 総合的な学習の時間 <input type="checkbox"/> 特別活動（クラブ活動、生徒会活動等） <input checked="" type="checkbox"/> 教育課程外（放課後子供教室、夏休み等の長期休業期間等） <input type="checkbox"/> 教員対象研修 <input type="checkbox"/> PTA等保護者対象研修 <input checked="" type="checkbox"/> 学童クラブ・児童館等のイベント <input checked="" type="checkbox"/> その他（自治体イベント、公民館/図書館でのイベント）

支援活動の概要紹介

「南極くらぶ」は、次世代育成の一環（社会貢献プログラム）として、主に小中学生を対象とした出前授業となります。小中学校の学習支援や児童生徒の将来のキャリア形成の一助としてご活用いただければ幸いです。お気軽にご連絡ください。保護者の皆さまも授業参観は問題ありませんので、大人も非常に興味が湧きますし、ご家庭でのコミュニケーションの一助になるとと思います。

対応可能な時期	日程が合えば随時可能 平日ならびに土曜日に開催 90分/1回 開催希望日の3ヶ月前には申込必要	必要経費	無料 宅配代を一時立て替えをお願いすることがあります
---------	---	------	-------------------------------

その他
 会場・定員・必要備品などについて

会場（教室・体育館・講堂等/暗幕がある環境を推奨）、設備（プロジェクター、スクリーン、マイク、スピーカー、予備パソコン）については、ご用意をお願いいたします。また、授業に際しましては、本プログラム担当者が事前に学校へ伺い、詳細をご説明し、学校側と相談の上、授業内容を決定していきます。
 ※講師は越冬隊経験者となりますが、本務での業務を担っているため、原則、東京都を中心に開催。平日の授業は繁忙期や出張等で重なった場合については、開催日程を調整いただく事がありますので、予めご了承ください。 ※1開催あたり30名以上、会場の容量等で30名に満たない場合は要相談。
 ※開始時間は10時～16時の間でご検討ください。開始時間が10時～16時以外の場合は要相談。
 ※土曜開催については、原則、公開授業など親子参加型で申し込みください。 ※日・祝日、お盆、年末年始、GW期間中は開催しません。
 ※年度末の3月開催については要相談。 ※年度始めの4月は受付のみとさせていただきます。

連絡先	部署名・担当者	総務部 社会貢献グループ 波津久 栄治/林 淳一/鈴木 正人/落合 淳/福島 裕紀子
	プログラム紹介 WEB	https://www.nesic.co.jp/sustainability/social/contribute/education.html
	電話	【会社携帯】 090-5753-7142(波津久)/090-2656-3729(林)/090-2760-7356(鈴木)/090-2547-9904(落合)/080-8389-1761(福島)
	e-mail	csr-sk@dm.nesic.com

プログラム名	財政教育プログラム		
団体名	財務省 関東財務局 東京財務事務所	区分	講
対象者	<input type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 他	小中学生～大学生まで対象やオーダーに合わせて講義を行います。	対象分野 <input type="checkbox"/> 学校

プログラムのねらい

- ・日本の財政に興味を持つことができる。
- ・社会問題を自分事として捉えることができるようになる。
- ・受益と負担の両面性（トレード・オフ）の理解を深め、多面的な見方を可能にする。
- ・多様な意見を集約するには、民主主義的過程が重要であると認識できる。

プログラムの内容 必要コマ数 2コマ

【講義の流れ】（時間は目安です。講義時間に合わせて調整いたします。）

- ①財政の講義を行います。（30分程度）
- ②講義を踏まえて、子供たちにICT機器を活用したグループワーク（※）を行ってもらいます。（30分程度）
ワーク中は、アドバイザー役の職員が質問対応やアドバイスをを行います。
- ③グループワークの成果について、各グループに発表してもらいます。（25分程度）
- ④まとめ。（5分程度）

（※）グループワークの内容

- ・「日本村の予算を作ろう！」（主に小学生向け）
もし、日本が100人の村で100万円の予算だったら？というシミュレーション。どのような予算にすれば、村の未来が良くなるかを考えてもらいます。
- ・「財務大臣になって予算を作ろう！」（主に中学生以上向け）
子供たちが財務大臣になって、日本の未来を考えるシミュレーション。日本をどんな国にしたいか考えながら、グループで予算案を作ってもらいます。
小学生や高校生にもおすすめです。
- ・「社会保障改革プランに挑戦！」（主に高校生以上向け）
日本の社会保障制度は、受益と負担の水準が釣り合っていない状態です。より良い未来の実現に向けてどのような改革が必要かを考えてもらいます。

令和4・5年度実績	<input checked="" type="checkbox"/> 小学校 <input checked="" type="checkbox"/> 中学校 <input checked="" type="checkbox"/> 高校 <input type="checkbox"/> 特別支援学校 <input type="checkbox"/> その他（ ）	令和4年度実績（都内） 5校（回）	令和5年度実績（都内） 8校（回）
	<input checked="" type="checkbox"/> 教科（ ） <input type="checkbox"/> 道徳 <input type="checkbox"/> 総合的な学習の時間 <input type="checkbox"/> 特別活動（クラブ活動、生徒会活動等） <input type="checkbox"/> 教育課程外（放課後子供教室、夏休み等の長期休業期間等） <input type="checkbox"/> 教員対象研修 <input type="checkbox"/> PTA等保護者対象研修 <input type="checkbox"/> 学童クラブ・児童館等のイベント <input type="checkbox"/> その他（ ）		

支援活動の概要紹介

小学生から大学生を対象として、財政に興味を持ってもらい、社会問題を「自分事」として捉え、自分たちの国の将来について考え、判断できる知識を育むことを目的に実施しています。グループワークを行うので、基本的には2コマ必要となりますが、講義の内容はご要望に応じてアレンジ可能ですので、お気軽にご相談ください。

対応可能な時期	日程が合えば随時可能 夜間休日は応相談。 開催希望の3か月前にはご連絡下さい。	必要経費	無料
---------	--	------	----

その他 会場・定員・必要備品 などについて	定員：講師の他に、グループ数に応じたアドバイザーも派遣します。大人数の場合、派遣する職員の都合がつかない可能性がございます。お早めにご相談ください。 必要備品：講師用パソコン（PowerPointが使用できるもの）、プロジェクター、スクリーン、グループに1台タブレット（※）等 （※）タブレットについて、個数によってはこちらで準備が可能です。お早めにご相談ください。
-----------------------------	---

連絡先	部署名・担当者	東京財務事務所 総務課 企画係 太田、國行、西名
	プログラム紹介 WEB	https://lfb.mof.go.jp/kouza/zaisei_program.html
	電話	03-6686-3434
	e-mail	koho.tokyo@kt.lfb-mof.go.jp

プログラム名	らしさ発見プログラム		
団体名	特定非営利活動法人 xTReeE (クロスツリー)		区分 リ
対象者	<input type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> 中 小学4年生～中学3年生まで	対象分野	<input checked="" type="checkbox"/> 学校 <input checked="" type="checkbox"/> 学外 「総合的な学習の時間」の学校授業と今期から学校外教育でも活用予定

プログラムのねらい

児童生徒一人ひとりの「良さ・持ち味」を引き出し自己肯定感を高めることを目的としたオンライン対話型キャリア教育プログラムです。
 ・友達や専門家(キャリアコンサルタント)とのオンライン対話を通して、自他の「よさ・持ち味」を見つける“まなざし”を身に付ける。
 ・強みと弱みは表裏一体の個性であるという気づきを促し、自分自身の「よさ・持ち味」に気付くことで“自己肯定感”を高める。

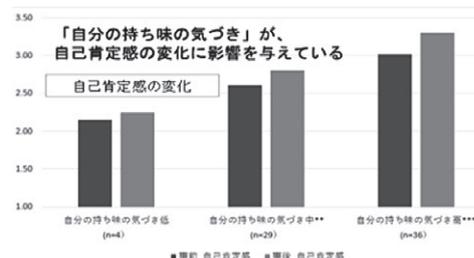
プログラムの内容

必要コマ数 3～4コマ

■プログラムの流れ

事前学習で自分の長所や短所を見つめ、交流学习で仲間と互いの長所を伝え合い、その上で複数人の国家資格キャリアコンサルタントが児童生徒一人ひとりのオンライン対話を実施し、自分の特長への気づきを促します。
 その後、事後学習では学びの振り返りと将来の目標を考えます。(打ち合わせ時に授業動画を共有)

- ◎事前学習 (0.5～1時限) ※学校のみで実施可(教材提供)
 1. 自分についてかんがえよう！内面に目を向けよう！(ワーク) ※学校のみで実施可(教材提供)
 2. 宿題の説明(自分の長所・短所を身近な大人に聞き取りをする)
- ◎交流学习 (2時限) ※団体と協働実施可
 1. 長所と短所の捉え方や他者からみた自分の一面を知る意義等の説明、またキャリアコンサルタントの紹介
 2. 仲間との対話：仲間と交流しながら、お互いの長所を伝え合う
 3. 専門家との対話：オンライン(一部は対面も可)キャリアコンサルタントが児童制度と一対一で対話し、強みを引き出して伝えたり、自身についてもやましていること等の相談にのる(キャリアコンサルタントとの対話は、他教室にブースを設けプライベートが確保された空間で実施)
- ◎事後学習 (0.5～1時限) ※学校のみで実施可(教材提供)
 1. ふりかえり
 2. 未来の自分への手紙を書く(宿題にすることも可)
 授業を通じて発見したよさ・持ち味などをもとに、未来の自分を勇気づける手紙を書く(手紙は学校で保管して、一定期間後に本人に渡す)



令和4・5年度実績	<input checked="" type="checkbox"/> 小学校 <input checked="" type="checkbox"/> 中学校 <input type="checkbox"/> 高校 <input type="checkbox"/> 特別支援学校 <input type="checkbox"/> その他() 令和4年度実績(都内) 校(回) 令和5年度実績(都内) 校(回)
	<input type="checkbox"/> 教科() <input type="checkbox"/> 道徳 <input checked="" type="checkbox"/> 総合的な学習の時間 <input type="checkbox"/> 特別活動(クラブ活動、生徒会活動等) <input type="checkbox"/> 教育課程外(放課後子供教室、夏休み等の長期休業期間等) <input type="checkbox"/> 教員対象研修 <input type="checkbox"/> PTA等保護者対象研修 <input type="checkbox"/> 学童クラブ・児童館等のイベント <input type="checkbox"/> その他()

支援活動の概要紹介

私たち団体は東京学芸大学と連携しながら、国家資格をもった対話のプロ(キャリアコンサルタント)が子供一人一人に寄り添う小・中学校向けオンライン対話型キャリア教育授業プログラムを教員のニーズに合わせて開発・実施しています。
 ※小中学校での対話型授業トレーニングを積んだ国家資格キャリアコンサルタントが多数所属しています。

対応可能な時期	日程が合えば随時可能	必要経費	要相談(実費等) 可能な限り、交通費を希望。Wifiや端末提供が難しい場合はレンタル費用の実費
その他 会場・定員・必要備品 などについて	教室3-4部屋、パソコンもしくはタブレット4-6台、必要に応じてマイク、Wifi		
連絡先	部署名・担当者	特定非営利活動法人 xTReeE	
	プログラム紹介 WEB	https://kyodo-portal.city.osaka.jp/report/24000023803/ https://www.manabinoba.com/tsurezure/022653.html	
	電話	080-1880-5774	
	e-mail	info@xtreee.or.jp	

プログラム名	デカトワル「元刑事と元不良が伝える 心と栄養のはなし」		
団体名	一般社団法人 Japan Holistic Fellows		区分 講 リ
対象者	<input type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 他	小学4年生以上が望ましく、対象年齢に応じて表現を変え、わかりやすくお伝えします。	対象分野 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 学外 <input type="checkbox"/> 研修

プログラムのねらい

幼少期、青年期の食習慣を含めた生活環境が、心にどのような影響を及ぼすのかを海外、国内の研究データを元に解説します。元刑事が現場で感じた疑問、元不良が自身の育った環境を振り返って思うことを、実体験と研究結果を結びつけてお話することで、「いつも何気なく食べているものが心（性格、精神状態、精神疾患）に影響があるんだ」ということを子供にも大人にもわかってもらいます。

プログラムの内容

必要コマ数 1コマ

- ①つかみ
紹介動画2分
自己紹介3分
- ②現場のリアル
刑事の現場のリアル
不良の現場のリアル
- ③みんなに質問
ある教育施設でケンカやトラブルが激減した取り組みとはどんな取り組みでしょう？
「00から00を無くした」
- ④なんでこうなったのか？
お菓子、ジュースが体の中でどんは働きをするのか？
- ⑤こういう甘いものを食べよう！（夏バージョン）
旬の果物、冷凍フルーツ、フローズンヨーグルト とうもろこし

令和4・5年度実績	<input type="checkbox"/> 小学校 <input type="checkbox"/> 中学校 <input type="checkbox"/> 高校 <input type="checkbox"/> 特別支援学校 <input type="checkbox"/> その他（ ） 令和4年度実績（都内） 校（回） 令和5年度実績（都内） 1校（回）
	<input type="checkbox"/> 教科（ ） <input type="checkbox"/> 道徳 <input type="checkbox"/> 総合的な学習の時間 <input type="checkbox"/> 特別活動（クラブ活動、生徒会活動等） <input type="checkbox"/> 教育課程外（放課後子供教室、夏休み等の長期休業期間等） <input type="checkbox"/> 教員対象研修 <input type="checkbox"/> PTA等保護者対象研修 <input type="checkbox"/> 学童クラブ・児童館等のイベント <input type="checkbox"/> その他（ ）

支援活動の概要紹介

一般社団法人 Japan Holistic Fellows は、アメリカ発祥のホリスティック栄養学を広く認知させる活動をしている団体です。栄養学といっても、食だけではなく、心の状態、環境などさまざまな相関を説き、ホリスティック（全人的）に人の健康を考える学問であり、日本の現状では、医師や栄養の専門家が学んでいる分野ですが、本当に必要なのは幼少期の教育であり、子育て中の親世代に最も知ってほしいものであり、そういった層に広くアプローチしています。

対応可能な時期	日程が合えば随時可能	必要経費	要相談（実費等） 可能な限り交通費支給を希望
その他 会場・定員・必要備品などについて	スクリーン、プロジェクターがあれば望ましい。		
連絡先	部署名・担当者	理事 阿部佑介	
	プログラム紹介 WEB	https://dekatowaru.my.canva.site/top	
	電話	090-7410-1806	
	e-mail	info@j-h-fellows.com	

プログラム名	いろいろな仕事の裏側にある楽しい仕事		
団体名	株式会社ジョイゾー	区分	講 義
対象者	小 中	対象分野	学校 学外

プログラムのねらい

株式会社ジョイゾーの仕事を通して、いろいろな仕事について学んでもらい、楽しく働く大人になってもらう。
(働く人の話を聞き、会社の紹介や仕事について学んでもらう中で、会社や社会の中にいろいろな役割等があることを知ってもらう)

プログラムの内容

プログラムの流れ

- ①導入 (5分)
 - ・自己紹介
 - ・本日の流れの紹介
- ②講義 (20分)
 - ・ジョイゾーについて ～IT企業の仕事について～
 - ・ジョイゾーが作ったシステム ～事例紹介～
(講義の途中でワークタイムあり)
 - ・ジョイゾーの仕事を分解する ～仕事をするチームワーク～
- ③ワーク (20分)
 - ・チームに分かれて会社を起業する
模造紙等に簡単に会社名とビジョン(大切にすること)を書いて何を事業にするか(例:販売物など)、何を提供するかをチームごとに分かれて書いてもらう
- ④発表とまとめ (20分)
 - ・チームごとの発表

※それぞれの時間配分については各学校の方針に合わせて調整可能

令和 4・5年度 実績	<input type="checkbox"/> 小学校	<input type="checkbox"/> 中学校	<input type="checkbox"/> 高校	<input type="checkbox"/> 特別支援学校
	<input type="checkbox"/> その他 ()	令和4年度実績 (都内) 校 (回)		令和5年度実績 (都内) 校 (回)
	<input type="checkbox"/> 教科 ()	<input type="checkbox"/> 道徳	<input type="checkbox"/> 総合的な学習の時間	<input type="checkbox"/> 特別活動 (クラブ活動、生徒会活動等)
	<input type="checkbox"/> 教育課程外 (放課後子供教室、夏休み等の長期休業期間等)	<input type="checkbox"/> 教員対象研修	<input type="checkbox"/> PTA等保護者対象研修	<input type="checkbox"/> 学童クラブ・児童館等のイベント
	<input type="checkbox"/> その他 ()			

支援活動の概要紹介

サイボウズ株式会社が提供するクラウドシステムプラットフォーム「kintone」の開発を行うSier(エスアイヤー)。主に業務システムにおいて、コンサルティング、アプリデザイン、業務設計、カスタマイズ開発をしている。
子供向けのkintone ワークショップを開始し、30人程度の子供達向けに、「kintoneでのアプリ作成の仕方、チームビルディング、アイデアソン、kintone アプリ作成、プレゼンテーション」といった4時間のワークショップを開催した。チームによる課題解決と成功体験の目的も合わせてワークショップデザインを行なった。また、江東区とキッズニアが行なっている「わくわくワークチャレンジ」にて、「アプリ開発のお仕事体験」の事業者として登録。小学校1年生から中学生までを対象としたプログラムを提供。こちらについては2時間の中で、課題を見つけ解決するアプリの作成の仕方、発表までを行なっている。2019年には池上第二小学校へ実際に訪問し本プログラムを開催した。

対応可能な時期	日程が合えば随時可能	必要経費	要相談 (実費等)
その他 会場・定員・必要備品 などについて	プロジェクターとスクリーン、模造紙、マジックなど		
連絡先	部署名・担当者	広報 小渡拓・中島尚子	
	プログラム紹介 WEB		
	電話	03-6458-4701	
	e-mail	press@serv.joyzo.co.jp	

プログラム名	みんなで考えよう！SDGs		
団体名	一般社団法人新宿ユネスコ協会		区分 講
対象者	<input type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 高 小学生は5～6年生、中学生は全学年対象	対象分野	<input checked="" type="checkbox"/> 学校

プログラムのねらい

- ◆ 2030年までのSDGs(持続可能な開発目標)について、我が国に対する評価のうち「達成された目標」「課題が残る目標」「重要な課題がある目標」「深刻な課題がある目標」はどの目標か?について調べ、理解を深める。
- ◆ 「深刻な課題がある目標」を分析し、課題解決のための提言をグループ内で議論しながらまとめ、発表する。
- ◆ SDGsを自分事として考え、課題解決のために活動を始めることができる。

プログラムの内容

必要コマ数 2コマ

■プログラムの流れ

1コマ目：

- ①導入(5分)
自己紹介、授業の流れの説明
- ②SDGsに関する講義(10分)
今回のプログラムの目的と、SDGsの概要や課題解決の必要性について説明する。
- ③グループワーク(20分)
2030年度を達成年度とされている「SDGs」の成果について我国の国際的評価を調べ、17の目標を「達成済み」「課題が残る」「重要な課題がある」「深刻な課題がある」の4段階についてまとめる。
- ④「深刻な課題がある」と評価されている目標のうちから関心のある目標をグループ内で1つ選び、発表して2コマ目に繋げる。

2コマ目：グループワークと発表

- ①1コマ目で選んだ「深刻な課題がある目標」について、「何が課題なのか?(課題の整理)」「課題解決のために何をすればよいのか?(提言)」についてグループ内で議論し、その結果を模造紙上にまとめる。
準備用品：模造紙(班に1枚ずつ)、太マジック(各班に数本)、サインペン(1人に1本ずつ)、ポストイット(7cm×7cm、1人に5枚ずつ)
- ②各班で発表の準備をする。
- ③各班で議論した結果を発表して全員で共有する。
- ④自分で実践できることを探して、活動に繋げるための計画を立てる。

令和4・5年度実績	<input type="checkbox"/> 小学校 <input type="checkbox"/> 中学校 <input type="checkbox"/> 高校 <input type="checkbox"/> 特別支援学校 <input type="checkbox"/> その他()
	令和4年度実績(都内) 校(回) 令和5年度実績(都内) 校(回)
	<input type="checkbox"/> 教科() <input type="checkbox"/> 道徳 <input type="checkbox"/> 総合的な学習の時間 <input type="checkbox"/> 特別活動(クラブ活動、生徒会活動等) <input type="checkbox"/> 教育課程外(放課後子供教室、夏休み等の長期休業期間等) <input type="checkbox"/> 教員対象研修 <input type="checkbox"/> PTA等保護者対象研修 <input type="checkbox"/> 学童クラブ・児童館等のイベント <input type="checkbox"/> その他()

支援活動の概要紹介

ユネスコ憲章に則り、世界の平和・福祉を願い、国際協力・環境保全・ESD/SDGs・消費者市民社会・男女共同参画社会の推進をめざして活動している。2020年度から新宿区委託事業連続5回講座「SDGsスクール」を継続して受託している。新宿区教育委員会教職員夏季研修会や大学教員・職員・学生向けのSDGsに関する出張講演を行っている。また、東京都下の中学生(3校)が総合的な授業にて当会を訪問し、講演会を実施した。また2024年度には、都立新宿高校1年生170人のうち2班が当会が出題した課題について研究し、3月には学年全体発表会において研究発表を行う。

対応可能な時期	日程が合えば随時可能	必要経費	無料
その他 会場・定員・必要備品 などについて	プロジェクター、スクリーン、模造紙、ポストイットをご用意下さい。		
連絡先	部署名・担当者	一般社団法人新宿ユネスコ協会 理事長 宮崎冴子	
	プログラム紹介 WEB	https://shinjukuunesco.fc2.page/	
	電話	090-5191-4196	
	e-mail	saekomiyazaki39@live.jp	

プログラム名	～社会保険と生命保険が学べる講師派遣～「リスクに備える」		
団体名	公益財団法人 生命保険文化センター	区分	講 習
対象者	<input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 高 本プログラムは中学生全学年が対象。別途高校生向けのプログラムもご用意しています。	対象分野	<input checked="" type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 学外 <input type="checkbox"/> 研修 研修(教員・PTA対象等)の際は、教員向け・社会人向け資料を別途用意。

プログラムのねらい

家庭科や社会科、総合学習の時間等、幅広くご活用いただけます。「足の骨折で入院した場合」の事例やクイズを通して、自分の人生やキャリア形成の過程で不測の事態に備える必要性や、備える方法(社会保険、預貯金、生命保険等)について楽しく学ぶことができます。

プログラムの内容 必要コマ数 1コマ

■プログラムの流れ

- ①将来について考えてみよう
さまざまなライフイベントが待ち構えていることを知り、それらに対応していくためには、将来の自分や家族のことについて考え、自分自身の働く目的や就きたい仕事について考えておくことが大切であることを認識します。
- ②リスクって何？
身の回りにあるリスクをクイズを交えながら学びます。また、リスクに備える方法として公的保障と私的保障について学習します。
- ③民間保険って何？
代表的な私的保障である預貯金と民間保険について、クイズを交えながらそのしくみと特徴を理解します。

■講義資料について

PowerPoint スライドや専用の生徒用ワークシートを使い、グループワーク等アクティブラーニングを意識した双方向による講義を行っています。

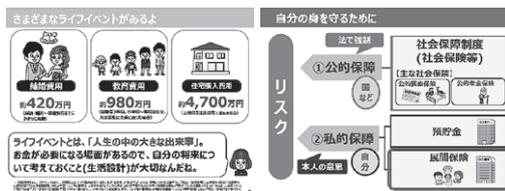
■参考

本プログラムの他、①中学校社会科向けプログラム「人生100年時代に必要な備えとは?」、②全科目共通プログラム「成年になるということ」、③副教材「君とみらいとライフプラン」を使った、ライフプラン表の作成ができる2コマ連続の講座も実施しています。

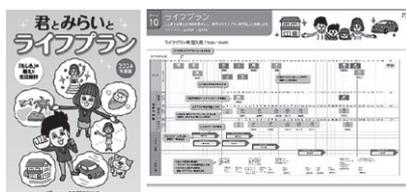
※マンガ「生命保険って何だろう?」でもリスクに備える方法を学ぶことができます。その他、毎年、全国の中学生を対象に、生命保険の役割などについて理解を深めていただくことを目的とした中学生作文コンクールを実施しています。



中学生作文コンクール



(例) PowerPoint スライド



君とみらいとライフプラン

詳細についてはこちらを参照ください。



講師派遣に関する詳細はこちら

◆公正・中立な立場でお話しします。交通費・謝礼金等は一切不要です！複数回の実施、クラス単位での実施も可能です。
◆Zoom等を活用したリアルタイムのオンライン講座や、講義を録画した動画を提供するオンデマンド講座にも対応しています。

令和4・5年度実績	<input type="checkbox"/> 小学校 <input checked="" type="checkbox"/> 中学校 <input checked="" type="checkbox"/> 高校 <input type="checkbox"/> 特別支援学校 <input type="checkbox"/> その他 () 令和4年度実績(都内) 44校(280回) 令和5年度実績(都内) 42校(240回)
	<input checked="" type="checkbox"/> 教科 () <input type="checkbox"/> 道徳 <input checked="" type="checkbox"/> 総合的な学習の時間 <input type="checkbox"/> 特別活動(クラブ活動、生徒会活動等) <input type="checkbox"/> 教育課程外(放課後子供教室、夏休み等の長期休業期間等) <input checked="" type="checkbox"/> 教員対象研修 <input checked="" type="checkbox"/> PTA等保護者対象研修 <input type="checkbox"/> 学童クラブ・児童館等のイベント <input type="checkbox"/> その他 ()

支援活動の概要紹介

公正・中立な立場で生活設計や生命保険に関する情報提供等を行うことを目的に、1976年(昭和51年)に設立。「消費者啓発・情報提供活動」「学術振興事業」「調査活動」の事業を3つの柱に、中学・高校・大学等への講師派遣、一般消費者や消費生活相談員等対象の学習会の実施、学校教育用副教材や消費者向け小冊子の作成、生活保障に関する意識や生命保険の加入実態等を探る調査活動を行っています。

対応可能な時期	日程が合えば随時可能	必要経費	無料
その他 会場・定員・必要備品などについて	対面講座の場合は、マイク、黒板・ホワイトボード、プロジェクター、PowerPointスライド投影用パソコン等の有無についてお知らせください。 オンライン講座の場合は、使用可能なオンラインツール(Zoomなど)をお知らせください。		
連絡先	部署名・担当者	講師派遣担当	
	プログラム紹介 WEB	https://www.jili.or.jp/lecturer/index.html	
	電話	03-5220-8517	
	e-mail	jitsugaku@jili.or.jp	

プログラム名	知っておきたい！人生のピンチに役立つ「社会保障制度」		
団体名	NPO 法人 Social Change Agency		区分 講
対象者	<input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> 他	対象分野	<input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 学外 <input type="checkbox"/> 研修
			授業内外での実施可能です。先生方のご参加も歓迎いたします。

プログラムのねらい
○日常生活で直面する可能性のあるピンチと、それに対応するための社会保障制度について学ぶ。 ○架空のキャラクターを通して、他者への共感を育む。

プログラムの内容	必要コマ数 2コマ
----------	-----------

【第1コマ目】※時間は目安です。ご希望に沿ってカスタマイズ可能です。

0:00-0:10：導入

- ・本日の目的の説明。
- ・社会保障制度の概要について説明

0:10-0:40：架空キャラクターにおきる人生のピンチを考える

- ・架空キャラクターのプロフィールとピンチカードの配布・説明
- ・グループでキャラクターが直面する問題について話し合う

※キャラクター例：ヤングケアラーの高校生、大学進学に際し経済的な不安を抱える高校生、熱心に部活に励む高校生、高校卒業し就職した18歳、パートナーからの要求に悩む大学生等。ご要望に応じて、実施クラスでどのキャラクターを用いるかご相談可能。要望がなければこちらで決定いたします。

※ピンチカード内容例：病気、怪我、事故、死別、失業、パワハラ、介護、給与未払い、妊娠、子育て、パートナーからの暴力等、20種類ほどを用意。

【第2コマ目】

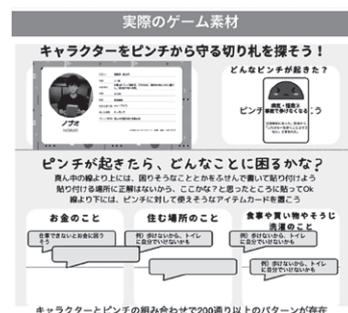
0:00-0:20：社会保障制度の学習

- ・社会保障制度カードの説明と配布
- ・キャラクターのピンチに対応する社会保障制度カードを選ぶ

※利用可能な社会保障制度カード40種類ほどを用意

0:20-0:40：感想シェアとまとめ

- ・グループメンバー間での感想の共有
- ・ファシリテーターからのコメント、国の制度案内サイト案内、アンケート



令和4・5年度実績	<input type="checkbox"/> 小学校 <input type="checkbox"/> 中学校 <input type="checkbox"/> 高校 <input type="checkbox"/> 特別支援学校 <input type="checkbox"/> その他 () 令和4年度実績 (都内) 校 (回)	令和5年度実績 (都内) 校 (回)
	<input type="checkbox"/> 教科 () <input type="checkbox"/> 道徳 <input type="checkbox"/> 総合的な学習の時間 <input type="checkbox"/> 特別活動 (クラブ活動、生徒会活動等) <input type="checkbox"/> 教育課程外 (放課後子供教室、夏休み等の長期休業期間等) <input type="checkbox"/> 教員対象研修 <input type="checkbox"/> PTA等保護者対象研修 <input type="checkbox"/> 学童クラブ・児童館等のイベント <input type="checkbox"/> その他 ()	

支援活動の概要紹介

弊法人では、社会保障制度のアクセシビリティ向上を目的にした情報発信やLINE相談事業、若者に社会保障制度を学んでもらうきっかけを作るための社会保障ゲーム事業を行なっています。

対応可能な時期	日程が合えば随時可能	必要経費	有料 1クラスに1名のファシリテーターがつきます。1名のファシリテーターにつき1万円+交通費のお支払いをお願いします。
その他 会場・定員・必要備品 などについて	プロジェクターとスクリーン、マイクのご用意をお願いいたします。PCは持参いたします。		
連絡先	部署名・担当者	事務局 横山/堀	
	プログラム紹介 WEB	https://social-change-agency.com/archives/9053	
	電話	090-2230-9332	
	e-mail	info@social-change-agency.com	

プログラム名	ライフプランニング授業		
団体名	ソニー生命保険株式会社		区分 講
対象者	<input type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> こ <input type="checkbox"/> 他	小学生は要相談（高学年以上）。 その他は、教員、PTA など大人対象の体験講座。	対象分野 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 学外 <input type="checkbox"/> 研修

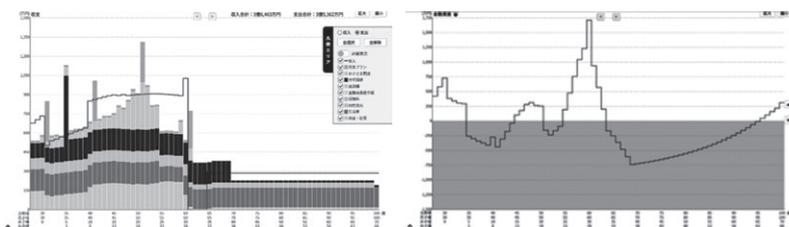
プログラムのねらい

ライフプランニング授業を通じて、「人生とお金」について具体的に考えることから、人生を計画的に生きることや自分らしさを追求し挑戦することの大切さ、また、周囲への感謝について気付きを得ることを目的としています。

プログラムの内容 必要コマ数 2コマ

仮想の家族の人生設計（ライフプラン）を立てながら、収入と支出の変化について専用のシミュレーションソフトを活用して、具体的に「見える化」します。結果、収支バランスが崩れる場合には、その改善策について、お金のプロ（ライフプランナー）のサポートを受けながら再検討します。授業を通じて、お金や自分の人生について考えるきっかけを提供します。

- ①イベントプランニング（1コマ目）
 仮想の家族を想定し、人生におけるイベント（夫婦の働き方、子供の教育プラン、住まいのプラン、毎月の出費、家族の夢プラン（自動車・旅行など））について具体的な計画を作っていきます。
- ②収支改善（2コマ目）
 1コマ目のライフプランをお金の面から検証します。
 当社専用のシミュレーションソフト（GLiP、下記画像）を使用し、収支結果をグラフで「見える化」します。
 収支バランスが崩れている場合は、講師からアドバイスを受けながら、ライフプランを再検討し、実現可能なプランへと改善していきます。
 最後に、授業のまとめとして、講師のこれまでのキャリアを振り返りつつ、子供たちに向けて応援のメッセージを送ります。



令和4・5年度実績	<input checked="" type="checkbox"/> 小学校 <input checked="" type="checkbox"/> 中学校 <input checked="" type="checkbox"/> 高校 <input checked="" type="checkbox"/> 特別支援学校 <input type="checkbox"/> その他（ ）	令和4年度実績（都内） 29校（回）	令和5年度実績（都内） 37校（回）
	<input checked="" type="checkbox"/> 教科（社会科・家庭科） <input type="checkbox"/> 道徳 <input checked="" type="checkbox"/> 総合的な学習の時間 <input type="checkbox"/> 特別活動（クラブ活動、生徒会活動等） <input checked="" type="checkbox"/> 教育課程外（放課後子供教室、夏休み等の長期休業期間等） <input type="checkbox"/> 教員対象研修 <input checked="" type="checkbox"/> PTA等保護者対象研修 <input checked="" type="checkbox"/> 学童クラブ・児童館等のイベント <input type="checkbox"/> その他（ ）		

支援活動の概要紹介

当社では、キャリア教育・金融経済教育・消費者教育の出張授業「ライフプランニング授業」を全国各地で実施しており、これまでに延べ2,125校、220,300人（2024年3月末時点）に受講いただいています。第4回キャリア教育アワード最優秀賞（経済産業大臣賞）を受賞し、昨年度は、文部科学省「令和5年度青少年の体験活動推進企業表彰」特別賞（スペシャルニーズ賞）を受賞しています。内容については、学校と事前打ち合わせを行い、学校の授業のねらいに合うように、アレンジを行っております。

対応可能な時期	日程が合えば随時可能	必要経費	無料
その他 会場・定員・必要備品 などについて	プロジェクター、HDMIケーブル、スクリーン、モニターなど、スライドを投影できる環境		
連絡先	部署名・担当者	総務部 社会貢献推進室 笹尾 一樹	
	プログラム紹介 WEB	https://www.sonylife.co.jp/land/sustainability/community/lp/	
	電話	03-5290-6111	
	e-mail	kazuki_sasao@sonylife.co.jp	

プログラム名	体験型安全教育プログラム（犯罪編・SNS編・地震編）		
団体名	特定非営利活動法人 体験型安全教育支援機構	区分	講 師 教 他 (講師養成)
対象者	<input type="checkbox"/> 未 <input type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> コ <input type="checkbox"/> 他	年齢だけでなく、子供のその時持っている能力=発達段階に応じてプログラム実施 対象分野	<input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 学外 <input type="checkbox"/> 研修 本プログラムを用いて指導するための指導士及び指導士補資格取得講座の開催

プログラムのねらい

危機を疑似体験することで、自ら考え行動し命を守る力である「安全基礎体力」(①体力、②危機への知恵・知識力、③コミュニケーション力、④大人力)を身に着けます。
 発達成長段階に沿ったプログラムとなっており、その時の最大限の定着を目指します。
 危機を疑似体験することで記憶に残り、万一の時の自助能力、さらには共助の力を高め、また、成長発達段階で危機回避がまだむずかしい子供でも、練習を繰り返して体験することで、いのちの大切さやそのまもり方を身につけることができます。

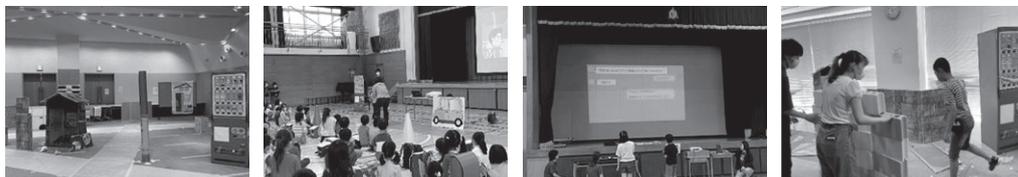
プログラムの内容

必要コマ数 各 45 - 60 分

<犯罪編>
 学校から家までの疑似的な通学路を設置し、つきまといや待ち伏せ行為等の察知、声掛けからの回避、連れ去りなどからの脱出、危機遭遇後の克服方法を学びます。具体的にはあやしい人の誘いを「はっきり断る」、危険だと思ったらそこから「離れる、逃げる」、友達を「助ける」、大人に「知らせる」までを体験します。
 また、「あやしい人の特徴」「あぶない場所」を合言葉を用いてわかりやすく説明します。

<SNS編>
 投影資料および当団体が制作した動画を用いて、子供たちと対話しながら SNS に潜む危険を知り、安全な使い方を学びます。未就学児・小学低学年児童には、紙芝居を用いてすすめます。プライバシーや写真等を投稿する際の注意点だけでなく、実際にオンラインゲームで知り合った子供を連れ去った犯人から聞き取り調査した、子供への接触手口についても説明し、SNS で知り合った人とは「絶対に会わない」ことを伝えます。さらに、やり取りが危険なものであると気づいたり、実際に被害にあってしまった時は、すぐに頼りになる大人へ相談することが大切であることも学びます。
 また、グループチャットなど言葉だけのコミュニケーションにより、友人との関係が悪くなったり、自分が「加害者」になる得ることも合わせて学びます。

<地震編>
 疑似的な「まち」の中で、ブロック塀の崩壊、瓦礫の散乱等を安全な素材を用いて再現し、実際の大地震時の映像、被害に遭った子供たちの「大地震その時」の言葉や行動を共有することで大地震をイメージさせます。具体的には室内外の危険な場所を知り、揺れから 8 秒の間に倒れる・動くものから離れる、安全確保の姿勢を取り 1 分間は揺れを我慢する、その後けがをせずには逃げられるように体を動かす方法を体験します。また避難所での安全対策についても学びます。



令和4・5年度実績	<input checked="" type="checkbox"/> 小学校 <input checked="" type="checkbox"/> 中学校 <input type="checkbox"/> 高校 <input checked="" type="checkbox"/> 特別支援学校 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (幼稚園) 令和4年度実績 (都内) 35校 (回) 令和5年度実績 (都内) 43校 (回)
	<input type="checkbox"/> 教科 () <input type="checkbox"/> 道徳 <input checked="" type="checkbox"/> 総合的な学習の時間 <input checked="" type="checkbox"/> 特別活動 (クラブ活動、生徒会活動等) <input checked="" type="checkbox"/> 教育課程外 (放課後子供教室、夏休み等の長期休業期間等) <input type="checkbox"/> 教員対象研修 <input checked="" type="checkbox"/> PTA 等保護者対象研修 <input checked="" type="checkbox"/> 学童クラブ・児童館等のイベント <input checked="" type="checkbox"/> その他 ()

支援活動の概要紹介

子供が自分自身を守るだけでなく「危機に対し共に向かい合い、克服するために深い知恵と生き方を体得し、最後は 21 世紀を作る人間=大人=地球市民を育てる」ための、教育プログラムの開発を目指しています。科学的な根拠に基づき、発達段階に沿って自分を守る力=「安全基礎体力」をつける教育、自助だけでなく共助、公助の心を培う教育、危機を通して子供を大人にする教育、を実施しています。

対応可能な時期	日程が合えば随時可能	必要経費	有料 交通費及び運営費のご負担をお願いいたします
その他 会場・定員・必要備品 などについて	プロジェクト及びスクリーン。 体験施設は参加人数、会場の広さ等にあわせて調整して配置します。		
連絡先	部署名・担当者	清永、林	
	プログラム紹介 WEB	https://www.ri-step.co.jp/?page_id=18	
	電話	03-3946-5203	
	e-mail	info@ri-step.co.jp	

プログラム名	ディレクトフォース理科実験グループ		
団体名	一般社団法人ディレクトフォース	理科実験グループ	区分 講 師 教
対象者	小 中	各学年に応じたテーマ・実験時間・内容を準備	対象分野 学校 地域の小・中学生対象の同様の活動にも対応

プログラムのねらい

子供たち自らが安全に楽しく実験することで「驚きと興味」を感じてもらい、結果として「一人でも多くの子供たちに理科が好きになってもらいたい」「大きくなって科学技術の分野で羽ばたいてもらいたい」という願いを込めて、自ら開発したテーマで子供達4～5名のグループに講師が一人付き、子供達とのコミュニケーションを大切にして、自然科学をわかりやすく説明することに最も力を入れています。

プログラムの内容

必要コマ数 要相談

「理科実験教室：出前授業メニュー」

1. 墨流しで絵はがきを作ろう
2. 3D表札を作ろう
3. 水をきれいにする活性炭のみみつ
4. 香りの粒を作ろう
5. 冷却パックを作ろう
6. ほかほかカイロを作ろう
7. エタノールで船を走らそう
8. 飛行機はなぜ飛ぶの
9. 食塩水電池を作ろう
10. 電気と風車 風で電気を起こす
11. マヨネーズを作って乳化を学ぼう
12. 水溶液の性質とはたらき
13. クレーンの秘密 滑車のはたらき

*多彩な手作りメニューが子供達に大人気

14. 光の花を咲かせよう
15. コンピューターの秘密を知ろう
16. モーターを作ろう
17. My地球儀を作ろう
18. 素数を探せ 数と遊ぼう
19. 身近な熱 人と水
20. 磁石でマジックタワーを作ろう
21. 色と遊ぼう
22. デンプンを探そう
23. 水に浮く力
24. プログラミングしてみよう
25. ミクロの世界をのぞいてみよう 植物の力
26. 音ってなんだろう



「理科実験教室・実施概要」

- ・開催場所 学校での授業・放課後教室が最も多く、その他科学技術館等の常設館や地区センター等
- ・時間 テーマにもよるが低中学年は45分から60分、高学年は60分から90分（要相談）
- ・実験器材 私共で全て準備・梱包して実験2日前に送付します
- ・費用 実験材料費・器材搬送費・講師交通費などを補う程度の謝礼金をいただきます
- ・お打合せ 私共のイベントリーダーが皆様と緊密に連絡を取りながら進めさせていただきます
- ・日時調整他 原則先着順としますが重複しても開催努力します

令和4・5年度実績	<input checked="" type="checkbox"/> 小学校	<input checked="" type="checkbox"/> 中学校	<input type="checkbox"/> 高校	<input type="checkbox"/> 特別支援学校
	<input checked="" type="checkbox"/> その他 ()			
	令和4年度実績 (都内) 109校 (81回)		令和5年度実績 (都内) 176校 (110回)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 教科 ()	<input type="checkbox"/> 道徳	<input checked="" type="checkbox"/> 総合的な学習の時間	<input type="checkbox"/> 特別活動 (クラブ活動、生徒会活動等)
	<input checked="" type="checkbox"/> 教育課程外 (放課後子供教室、夏休み等の長期休業期間等)		<input type="checkbox"/> 教員対象研修	<input checked="" type="checkbox"/> PTA等保護者対象研修
	<input checked="" type="checkbox"/> 学童クラブ・児童館等のイベント		<input type="checkbox"/> その他 ()	

支援活動の概要紹介

一般社団法人ディレクトフォースは2002年9月に、企業の役員など Senior Executive のOBを組織化しその知見・経験を生かして社会貢献することを目的に設立されました。大学での講義、各種講演会、コンサル等の活動を行っています。また、ボランティア活動として小中学生への理科実験教室や中学・高校生向けの授業支援等の幅広い活動を行っています。

対応可能な時期	日程が合えば随時可能 先着順を基本としています	必要経費	要相談 (実費等) 材料費・器材搬送費・交通費相当の謝礼金
その他 会場・定員・必要備品 などについて	理科実験教室は体験型ですので理科室・家庭科室など実験可能な会場が必要となります。		
連絡先	部署名・担当者	広報担当 小林慎一郎	
	プログラム紹介 WEB	https://www.directforce.org/DF2022/education/rikaG/index.html	
	電話	03-6693-8020	
	e-mail	rikadf@directforce.org	

プログラム名	スクーلمان部！ 授業支援プログラム～シェア先生の経済教室～		
団体名	東京証券取引所（日本取引所グループ）	区分	講 義 教 他
対象者	<input type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 高 小学校高学年～高校生・東京都などからの依頼で教員向け研修も実施	対象分野	<input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 研修
			教員向けのほか、PTA主催の親子経済教室等も実施

プログラムのねらい

私たちの暮らしに密接に関わる経済や金融のしくみを理解し、自ら選択する力を養い、「生きる力」を身につけてもらうことが重要と考えています。

プログラムの内容 必要コマ数 1～2コマ

- ロールプレイ授業「私たちの暮らしと株式会社」 <1時限> :小学生対象
- ロールプレイ授業「株式会社のしくみと証券市場」 <1時限> :中・高校生対象 (学習指導要領対応)
- プログラムの流れ
 - ①導入 (5分)
東京証券取引所の紹介
 - ②講義 (15分)
経済とは何か。私たちの生活と経済や株式会社は身近な存在で密接に関わっていることを知る。
 - ③ロールプレイ (20分)
社長役・株主役となり、社長から見た株式の利点、株主から見た株式のメリット・リスクを知り、株式会社のしくみを学ぶ。
 - ④まとめ (5～10分)
株式会社は、経済にとってなくてはならない存在で、400年続く仕組みであり、自分達も経済の一部であることを気づかせる。



<他プログラム>

【出前授業】

- ◆小学生対象
 - ボードゲーム授業「ブルサ」(小学生版) <2時限>
- ◆中・高校生対象
 - 授業「社会や経済の動きと株価」 <1時限>
 - ボードゲーム授業「ブルサ」(中高生版) <2時限>
 - キャリア教育など <1時限～>

【受入授業】

- ◆小・中・高校生対象
 - 東証見学 (30分) + DVD上映・授業「株式会社のしくみ」(60分) <標準:1時間30分> 定員5～40名

令和4・5年度実績	<input checked="" type="checkbox"/> 小学校 <input checked="" type="checkbox"/> 中学校 <input checked="" type="checkbox"/> 高校 <input checked="" type="checkbox"/> 特別支援学校 <input type="checkbox"/> その他 ()	令和4年度実績 (都内) 18校 (回) 令和5年度実績 (都内) 27校 (回)
	<input checked="" type="checkbox"/> 教科 (社会・公民・政治経済・家庭科・探究等) <input type="checkbox"/> 道徳 <input checked="" type="checkbox"/> 総合的な学習の時間 <input checked="" type="checkbox"/> 特別活動 (クラブ活動、生徒会活動等) <input type="checkbox"/> 教育課程外 (放課後子供教室、夏休み等の長期休業期間等) <input checked="" type="checkbox"/> 教員対象研修 <input type="checkbox"/> PTA等保護者対象研修 <input type="checkbox"/> 学童クラブ・児童館等のイベント <input checked="" type="checkbox"/> その他 (社会科見学・都内研修)	

支援活動の概要紹介

東京証券取引所（日本取引所グループ）では、正しい金融知識を持ってもらうために、中立な立場で様々なプログラムを提供しております。出前授業は担当の先生と相談し、ご要望に沿った内容の授業を行います。また、受入授業では、実際のマーケットを見学し、株式のしくみを学ぶため、社会科見学、都内研修などに利用されています。オンラインでも出前授業が可能です。

対応可能な時期	日程が合えば随時可能 3週間前までにご連絡ください。	必要経費	無料 ボードゲーム授業「ブルサ」を行う場合は、教材返送費をご負担いただけます。
その他 会場・定員・必要備品 などについて	パソコン・プロジェクター、スクリーンを用意してください。 定員については10名以上 要相談 オンラインの場合は、使用ソフトは学校様とご相談いたします。(zoom 希望)		
連絡先	部署名・担当者	金融リテラシーサポート部 町田	
	プログラム紹介 WEB	https://www.jpx.co.jp/tse-school/	
	電話	050-3377-8988	
	e-mail	school@jpx.co.jp	

プログラム名	言語聴覚士のしごと紹介		
団体名	一般社団法人 東京都言語聴覚士会		区分 講 リ
対象者	<input type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> こ <input type="checkbox"/> 他	教員の方や保護者の方向けのプログラムもご相談ください。	対象分野 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 学外 <input type="checkbox"/> 研修

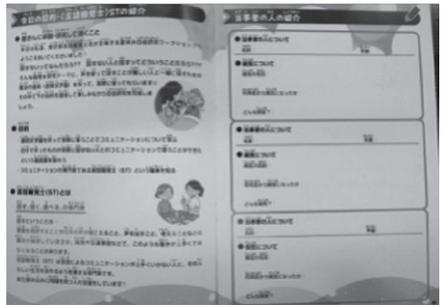
プログラムのねらい

言語聴覚士は、言語聴覚障害や摂食嚥下障害のある人や家族を中心としたその周囲の人たちに、評価・指導・訓練などの専門的なサービスを提供し、障害の軽減をはかるとともに、その人にふさわしい生活の実現を支援する職種です。我々の提供するプログラムを通して子供たちが、当事者の方やご家族、言語聴覚士から直接話を聞き、またグループワークを通し様々な立場に立って考えることで、思いやること、他者を受け入れること、相互理解のために工夫することを学ぶことを目的としています。

プログラムの内容

必要コマ数 1～2コマ

- ・言語聴覚士の仕事紹介
 - ・言語聴覚士の実際の関わりの紹介（事例を通じた紹介など）
 - ・「ことば」「きこえ」「飲み込み」などに関する体験型のワーク
 - ・夏休みの自由研究イベントでは、筋萎縮性側索硬化症（ALS）の当事者の方とコミュニケーションをとるための透明文字盤の作成・実際に使用してのコミュニケーション、ハイテクエイドの体験や補聴器体験・聴力検査体験・指文字体験なども行いました。
 - ・吃音に関するオンラインイベントも行いました。教員の方向けの症状・配慮についてなどの講義も可能です。
 - ・毎年当事者の方の思いを聞く講演会も開催しています。2024年度は難聴当事者の方に就労についてなどを語っていただきました。
- 上記以外にも、言語聴覚士の関わる領域（コミュニケーション、摂食・嚥下、聴覚、発達領域など）でのご要望があればご相談ください。
- ※中高生向けにキャリア教育の一貫として、国家資格である言語聴覚士の職業紹介（養成課程の紹介など）も行えます。



令和4・5年度実績	<input checked="" type="checkbox"/> 小学校 <input type="checkbox"/> 中学校 <input checked="" type="checkbox"/> 高校 <input type="checkbox"/> 特別支援学校 <input type="checkbox"/> その他（ ）	令和4年度実績（都内） 3校（回）	令和5年度実績（都内） 6校（回）
	<input type="checkbox"/> 教科（ ） <input type="checkbox"/> 道徳 <input checked="" type="checkbox"/> 総合的な学習の時間 <input type="checkbox"/> 特別活動（クラブ活動、生徒会活動等） <input type="checkbox"/> 教育課程外（放課後子供教室、夏休み等の長期休業期間等） <input type="checkbox"/> 教員対象研修 <input type="checkbox"/> PTA等保護者対象研修 <input type="checkbox"/> 学童クラブ・児童館等のイベント <input type="checkbox"/> その他（ ）		

支援活動の概要紹介

上記記載のとおり

対応可能な時期	日程が合えば随時可能 講師派遣調整の都合上、希望日の2か月前までの申し込みをお願いいたします。	必要経費	無料 ※島しょ部の場合はリモートでの実施をお願いしております。
その他 会場・定員・必要備品などについて	プロジェクター、スクリーンなど		
連絡先	部署名・担当者	みらい事業部・小林祐貴	
	プログラム紹介 WEB	一般社団法人 東京都言語聴覚士会ホームページ： http://st-toshikai.org/	
	電話	なし	
	e-mail	yuuki.kobayashi@st-toshikai.org	

プログラム名	働くこと（ワークルール）と社会保険		
団体名	東京都社会保険労務士会	区分	講 教
対象者	<input type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 他 小学生4～6年、中学生全学年、特別支援学校、教員、PTA対象。	対象分野	<input checked="" type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 学外 <input type="checkbox"/> 研修 主に学校支援活動（授業支援）を対象。その他分野も応相談。

プログラムのねらい

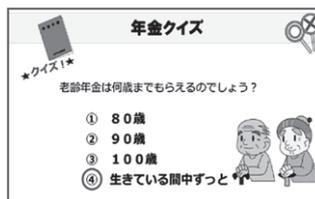
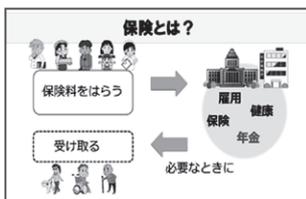
小学生に対しては、「働くこと」の大切さや「社会は支え合い」であることを、学校の係など身近なところでも支え合いで成り立っていることを事例を交えながら解説し、社会生活にはいろいろな役割があることやその大切さを分かってもらうことを目的としています。
 中学生に対しては、ワークルールの基礎知識と社会保険の制度によって日本は支え合っていることを事例を交えながら解説し、将来の職業生活との関連の中で、今の学習の必要性や大切さを理解してもらうことを目的としています。
 児童・生徒の皆さんが「生きる力」を備え、社会の中で自分の役割を見出し、充実した日々を送れるように、その一助となりたく願っております。

プログラムの内容

必要コマ数 1コマ

《授業（約45～50分）の内容》 次の内容を基に希望を聴いて構成します。

- 小学校 4・5・6年生
 1. 働くことについて
 - ・働いてどんなこと？
 - ・働くときに大切なこと
 - ※いろいろな仕事ワークシート
 2. 社会の支え合いのしくみ
 - ・身近なくみ 健康保険と年金
 - ※社会の支え合いのしくみワークシート



令和4・5年度実績	<input checked="" type="checkbox"/> 小学校 <input checked="" type="checkbox"/> 中学校 <input checked="" type="checkbox"/> 高校 <input checked="" type="checkbox"/> 特別支援学校 <input checked="" type="checkbox"/> その他 ()	令和4年度実績 (都内) 104校 (284回)	令和5年度実績 (都内) 126校 (314回)
	□教科 () □道徳 <input checked="" type="checkbox"/> 総合的な学習の時間 □特別活動 (クラブ活動、生徒会活動等) □教育課程外 (放課後子供教室、夏休み等の長期休業期間等) □教員対象研修 □PTA等保護者対象研修 □学童クラブ・児童館等のイベント □その他 ()		

支援活動の概要紹介

社会保険労務士は労働（ワークルール）や社会保険に関する法律の専門家です。当会では将来を担う児童・生徒に対して、キャリア教育等の支援活動を行っております。上記プログラムは一例であり、ご要望に応じて構成を変えることも可能です。他に小学生、中学生対象のプログラム、教員、PTA向けに労働関係セミナーや、特別支援学校向けには、障害年金セミナー等も行っておりますので、お気軽にお問い合わせください。

対応可能な時期	日程が合えば随時可能	必要経費	要相談（実費等） 可能な限り交通費、資料印刷代を希望
その他 会場・定員・必要備品 などについて	プロジェクターとスクリーンを用意してください。 リモート授業をご希望の場合は別途ご相談ください。		
連絡先	部署名・担当者	業務第一課 荻部・山崎・曳地	
	プログラム紹介 WEB	https://www.tokyosr.jp/education/	
	電話	03-5289-0751	
	e-mail	gakkokyoiku@tokyosr.jp	

プログラム名	「助け合う社会を支える一人になる」赤十字や血液事業(献血と輸血)から考えるわたしたちの社会		
団体名	東京都赤十字血液センター	区分	講 教
対象者	<input type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 高 小学校については高学年 (主に6年生)	対象分野	<input checked="" type="checkbox"/> 学校

プログラムのねらい

苦しむ人を救おうとする赤十字の理念や、輸血が必要な人を皆で支える血液事業の仕組みについて学びます。献血で救われる命があること、自分たちにも誰かの命を救う力があることを、輸血を受けた方の体験談(動画視聴)などを通して実感していただきます。献血がまだできない年齢でも、プログラムを通して学んだことをご家族や周りの方に話すことも、ひとつの大きな献血協力であることを伝えます。プログラム全体を通して助け合いについて考え、「自分にもできることがある」と気づいてもらうことを狙っています。

プログラムの内容

- 赤十字について
赤十字って何? どうして赤十字ができたの?
戦争で負傷した兵士を、敵も味方も関係なく救助したアンリーデュナンの話
- 血液事業について
血液は身体の中でどんな役割があるの? →生きていくうえで血液が必要不可欠である
輸血は何をするの? →病気で怪我で血液を補う必要がある患者さんを救うために、1日に約14,000人の献血協力が必要である
→実際に病気で輸血を受けられた方の体験談を動画視聴し、血液の大切さを実感していただく
献血ってなに? →献血の目的や具体的な方法、献血ルームの様子を紹介
- 助け合う世の中の一人になる
人は誰しも、救う側にも救われる側にもなる。お互いが助け合うことで苦しんでいる人を救える社会を築くことができる。まずは身近なことから、自分にできることを考えてみる。ほかのひとの苦しみ「気づき」、「考え」、「実行する」ことができる人になろう!!

<p>日本赤十字社の活動</p> <p>社会福祉事業、看護職の養成、国際活動、病院事業、赤十字ボランティア、青少年赤十字の養成、救急法の講習、血液事業</p>	<p>血液事業とは... 輸血を必要とする人に血液を届けること</p>	<p>ほかの人の苦しみに 「気づき」「考え」 「実行する」 どんなことができると思いますか? 考えてみてください</p>	
---	---	--	--

令和4・5年度実績	<input type="checkbox"/> 小学校 <input checked="" type="checkbox"/> 中学校 <input checked="" type="checkbox"/> 高校 <input type="checkbox"/> 特別支援学校 <input type="checkbox"/> その他 () 令和4年度実績 (都内) 12校 (回) 令和5年度実績 (都内) 26校 (回)
	<input type="checkbox"/> 教科 () <input checked="" type="checkbox"/> 道徳 <input checked="" type="checkbox"/> 総合的な学習の時間 <input type="checkbox"/> 特別活動(クラブ活動、生徒会活動等) <input type="checkbox"/> 教育課程外(放課後子供教室、夏休み等の長期休業期間等) <input type="checkbox"/> 教員対象研修 <input type="checkbox"/> PTA等保護者対象研修 <input type="checkbox"/> 学童クラブ・児童館等のイベント <input type="checkbox"/> その他 ()

支援活動の概要紹介

日本赤十字社の血液事業の「献血」が、医療に必要不可欠な輸血用血液を集める国内唯一の助け合いであることを学習する。赤十字の理念や日本赤十字社が行う9つの事業についての学びから、世の中には、「献血」以外にも様々な助け合いが必要とされており、自分には何ができるのかを考える機会を与える。相互扶助・相互支援の必要性、「献血」を含めた将来の助け合いの担い手として、考えるきっかけとする。

対応可能な時期	日程が合えば随時可能 先着順、平日の開催とさせていただきます。平日以外は、ご相談ください。	必要経費	無料
その他 会場・定員・必要備品などについて	【必要備品】パソコン(パワーポイント搭載)、プロジェクター、スクリーン、マイク、スピーカー 会場や人員については、事前の打ち合わせの際に確認させていただきます。 プログラムの所要時間は45~90分程度。ご要望に合わせて調整可能です。		
連絡先	部署名・担当者	東京都赤十字血液センター 総務課企画係 直井裕介・坂本菜織	
	プログラム紹介 WEB	https://www.bs.jrc.or.jp/ktks/tokyo/special/m6_07_index.html	
	電話	03-5272-3512	
	e-mail	tky_kikaku@ktks.bbc.jrc.or.jp	

プログラム名	しごとマップを作ろう！		
団体名	株式会社トップアスリート(13歳のハローワーク公式サイト)		区分 講
対象者	<input type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> コ	※小学生中高学年から高校生は1年生までが主な対象です。 対象分野 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 学外 <input type="checkbox"/> 研修	小学校4～6年生、中学生、高校1年生までが適しています。

プログラムのねらい

- 自分の好奇心について見つめ直す。
- 世の中の仕事の多様性を感じる。
- グループで話し合い、仕事マップを作成する中で、コミュニケーション力やチームで働くことの楽しさを感じる。

プログラムの内容 必要コマ数 2～3コマ

好きから繋がる仕事を俯瞰して見る「13歳のハローワークマップ(右の画像)」のコンセプトを基に、自分たちの仕事マップ(右下写真)を作成。自分の好き・好奇心、得意なことを見つめ直し、そこから繋がる仕事、活かせる仕事等を考える。



【プログラムの流れ】

- 自分の好き・好奇心・得意な事などを見つめ直し、書き出す。(個人ワーク)
- そこからつながる職業を書き出していく(個人ワーク)
- グループで、個人ワークの内容を共有し、模造紙に貼っていく。(グループワーク)
- それぞれの人について、グループで仕事を出し合う。(グループワーク)

【授業の進行(2コマ)の例】 場所:各教室(場合によってはホール・講堂)

※各クラスに社会人または大学生の進行役・ファシリテーターを配置する。

- 1コマ目 オリエン、アイスブレイク、社会人ミニトーク、個人ワーク
 ※進行役・ゲストの高校時代の好きや興味について…など
- 2コマ目 個人ワーク/グループワーク 完成
 ※新しい仕事を発想したり、仲間と各々の適性などをアドバイスしあったり、今からできることを考えたり、生徒の今後につながる工夫をすると良い。



令和4・5年度実績	<input type="checkbox"/> 小学校 <input checked="" type="checkbox"/> 中学校 <input checked="" type="checkbox"/> 高校 <input type="checkbox"/> 特別支援学校 <input type="checkbox"/> その他() 令和4年度実績(都内) 2校(回) 令和5年度実績(都内) 3校(回)
	<input type="checkbox"/> 教科() <input type="checkbox"/> 道徳 <input checked="" type="checkbox"/> 総合的な学習の時間 <input type="checkbox"/> 特別活動(クラブ活動、生徒会活動等) <input type="checkbox"/> 教育課程外(放課後子供教室、夏休み等の長期休業期間等) <input type="checkbox"/> 教員対象研修 <input type="checkbox"/> PTA等保護者対象研修 <input type="checkbox"/> 学童クラブ・児童館等のイベント <input type="checkbox"/> その他()

支援活動の概要紹介

13歳のハローワーク公式サイトとの運営と並行して働く社会人との交流プログラムや「好奇心から多様な職業と出会う、可能性が広がる」をテーマに、子供・生徒自身が考えるしごとマップの作成ワークショップを企画・運営をしています。その他、働く社会人と子供・生徒が交流する出張授業やイベントの企画・運営・サポートをしています。

対応可能な時期	日程が合えば随時可能 ※具体的な日程は要相談	必要経費	有料 ※備品は準備いただく。
---------	---------------------------	------	-------------------

その他 会場・定員・必要備品などについて	・最大6クラス(240名程度まで) 最小単位は10～30名程度。 ・会場はグループワークができる場所が望ましい。 ・準備いただく備品等: プロジェクター・接続コード、付箋紙、水性マジック、ハサミ、ノリ、筆記具、資料印刷等 ・費用は、数万円×クラス数。 ※参加者が30名程度までで全体進行の派遣のみでOKの場合は費用交通費程度でも実施可能の場合あり。
-------------------------	--

連絡先	部署名・担当者	宇田川真也
	プログラム紹介 WEB	https://www.13hw.com/event/20071004_report.html
	電話	03-6416-4547 / 080-5517-0500
	e-mail	info@13hw.com

プログラム名	おもいやりの心を育む「おも活」		
団体名	公益財団法人日本ケアフィット共育機構		区分 講 義
対象者	<input type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> 中 ・小学4～6年生が中心 ・東京23区、大阪（他地域要相談） ・オンラインも可	対象分野	<input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 学外 <input type="checkbox"/> 研修 特別授業・放課後教室・地域のイベントで実施。教員向けの研修も可能です。

プログラムのねらい

障害を含めて相手の立場をおもいやる行動をするためのワークを交えた授業です。
 “おもいやりの行動”には2つの要素があります。
 ・困りごとに気づいて動く
 ・違いを認め合い、相手の立場になって考える
 困りごとや相手の立場とはどういったことなのかを、障害当事者も交えてお伝えします。
 児童の皆様に身近な学校のことや障害者の例を題材に想像・発表していただくことで、多様性の理解や自分に何ができるのか考え、行動できる力を養います。
 学習指導要領で求められる心のバリアフリーの実践に繋がります。

プログラムの内容

必要コマ数 1コマ

■カリキュラム

- おもいやりって何だろう？
 ・どのような行動が思いやりなのか、考えます
- 困りごとって何だろう？
 ・ちがいを考えられていないことによって、社会や環境が困りごとを生み出していることを学びます
- ちがいや困りごとを考えてみよう
 ・障害当事者と一緒に考え発表をするワークをします。
 自分が普段している行動から、身近にあるちがいや困りごとを考えます。
- 質疑応答
 ・障害当事者に聞いてみたいことを質問していただけます。
- まとめ
 ・おもいやりの大事なポイントをまとめます。

おもいやりって何だろう？



おもいやりとは…

①困りごとに対してお手伝いする
 ・何にこまっているのかな？
 ・自分に何ができるかな？

②色々な「ちがい」を考えること
 相手の気持ちになってみる

例えば視覚に障害がある人が、信号の色がわからず困っていた時…
 自分には何ができそうか、信号機にどんな工夫があれば1人でも安心して渡れるか、考え発表していただけます。



令和4・5年度実績	<input checked="" type="checkbox"/> 小学校 <input checked="" type="checkbox"/> 中学校 <input type="checkbox"/> 高校 <input type="checkbox"/> 特別支援学校 <input type="checkbox"/> その他（ ）
	令和4年度実績（都内） 13校（回） 令和5年度実績（都内） 8校（回）
	<input type="checkbox"/> 教科（ ） <input type="checkbox"/> 道徳 <input checked="" type="checkbox"/> 総合的な学習の時間 <input type="checkbox"/> 特別活動（クラブ活動、生徒会活動等） <input type="checkbox"/> 教育課程外（放課後子供教室、夏休み等の長期休業期間等） <input type="checkbox"/> 教員対象研修 <input type="checkbox"/> PTA等保護者対象研修 <input type="checkbox"/> 学童クラブ・児童館等のイベント <input type="checkbox"/> その他（ ）

支援活動の概要紹介

公益財団法人日本ケアフィット共育機構は、「誰もが誰かのために共に生きる社会」を目指し、「あらゆる場面でケアをフィットする」ことを使命としております。そのひとつとして、「おもてなしの心」と「正しい介助技術」を持ちあわせた「サービス介助士」を育成し、現在、22万人以上のサービス介助士が街中で活躍するようになりました。そして、「心のバリアフリー教育」「障害の社会モデル」の理解を多くの人に浸透させる一環として、「おも活」の授業を行い、子供たちに伝えております。今後も、「誰もが誰かのために共に生きる社会」「本当の意味での共生社会」を実現するために、「共育活動」と「実践活動」を通して考えつづけ、行動してまいります。

対応可能な時期	日程が合えば随時可能	必要経費	有料 講師料（1コマ1万円）＋講師交通費
その他 会場・定員・必要備品などについて	・会場：視聴覚室等のPCを投影できる教室（複数クラスを続けて実施する際は、同教室を連続で使用させていただきます） ・時間：1回45分 ・定員：1クラスもしくは40名程度 ・ご準備いただくもの：プロジェクター、スクリーン、PC、HDMIケーブル（弊機構からはUSBメモリのみ持参いたします） ・費用：応相談 ・派遣者：サービス介助士1名、当事者講師1名		
連絡先	部署名・担当者	おも活担当：三船、岩橋、荒井、水上、高井、合谷	
	プログラム紹介 WEB	https://www.carefit.org/personal/omokatsu.php	
	電話	0120-0610-64	
	e-mail	sot-sat@carefit.org	

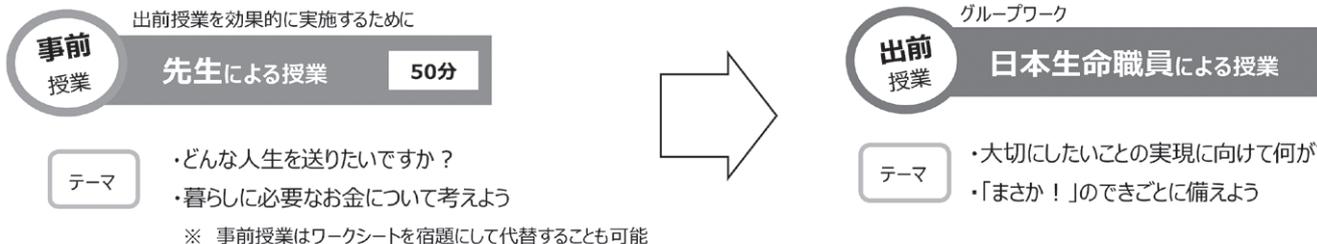
プログラム名	わたしのライフデザイン～みらいとつなぐ～		
団体名	日本生命保険相互会社	区分	講
対象者	<input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 高 推奨学年：中学1年生～高校1年生	対象分野	<input type="checkbox"/> 学校

プログラムのねらい

授業はアクティブラーニング形式で行い、自分の大切にしたいことは何か考え、意思決定するプロセスを体験します。大切にしたいことの実現に向けて具体的に何が出来るか、「備え」という視点も含めた自分の未来を考えるプログラムです。日本生命の職員が講師となり、自身の経験談を交えながら「ライフデザイン」をテーマに授業を行います。保護者や学校の先生とは違う、一企業に勤める社会人の体験談を聞くことで新たな視点を持つことができるように努めます。キャリア教育や金融教育、職場体験の事前・事後学習としての活用も可能です。

プログラムの内容

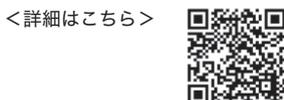
必要コマ数 2 (または1) コマ



二人の大切にしたいこと

みらい 15歳 ● 絵が好きな人を増やす ●好きなことに 関われる仕事に就く	つなぐ 15歳 ● 地元で生活を 続け、地域と つながり続ける ● サッカーに関わり続ける
--	--

2人の10年後を予想してみましょう 隣の人と話してみよう



令和4・5年度実績	<input type="checkbox"/> 小学校 <input checked="" type="checkbox"/> 中学校 <input checked="" type="checkbox"/> 高校 <input type="checkbox"/> 特別支援学校 <input type="checkbox"/> その他 () 令和4年度実績 (都内) 6校 (回) 令和5年度実績 (都内) 7校 (回)
	<input checked="" type="checkbox"/> 教科 (社会、家庭科) <input type="checkbox"/> 道徳 <input checked="" type="checkbox"/> 総合的な学習の時間 <input type="checkbox"/> 特別活動 (クラブ活動、生徒会活動等) <input type="checkbox"/> 教育課程外 (放課後子供教室、夏休み等の長期休業期間等) <input type="checkbox"/> 教員対象研修 <input type="checkbox"/> PTA等保護者対象研修 <input type="checkbox"/> 学童クラブ・児童館等のイベント <input type="checkbox"/> その他 ()

支援活動の概要紹介

2011年度から出前授業を開始。2023年度末までに全国で1,047校103,401名の中高校生に対し授業を行っています。生徒からは「将来に対する考えが変わった。将来どんな自分になりたいか、自分の価値観を大切に、自分と向き合って生活していきたい。」先生からは「1人で考える→グループで考える→発表のサイクルはとても良かった。講義形式と違って“自分”と“相手”が意識でき、周囲の生徒のさまざまな価値観に気付けたと思う。」との声をいただいています。

対応可能な時期	日程が合えば随時可能 6月1日～1月下旬 (土・日・祝日は対象外) ※申込は授業希望日の2カ月前までをお願いします。※2025年度はメ切等が変更となる場合がございます。	必要経費	無料
その他 会場・定員・必要備品 などについて	○パソコン、プロジェクター、スクリーン、機器をつなぐコード (必要に応じてマイク) の準備をお願いします。 ○事前に事務局より送付する URL から教材をダウンロードしていただき、当日の設営 (スライドの準備やワークシートの印刷・配付) をお願いします。 ○教室で各クラスごとの実施、または、体育館等での全員一斉実施が可能です。詳しくはお問合せください。		
連絡先	部署名・担当者	日本生命保険相互会社サステナビリティ経営推進部 出前授業担当	
	プログラム紹介 WEB	https://www.nissay.co.jp/kaisha/csr/chiiki/pdf/chiiki_pdf_visiting_lecture.pdf	
	電話		
	e-mail	demaie_ukeire@nissay.co.jp	

プログラム名	安全教育プログラム「ぼうさい探検隊」		
団体名	一般社団法人 日本損害保険協会	区分	教
対象者	<input type="checkbox"/> 小 学校教育以外の場では、保護者などの大人と一緒に取り組むことが望ましい。	対象分野	<input checked="" type="checkbox"/> 学校 <input checked="" type="checkbox"/> 学外

プログラムのねらい

「ぼうさい探検隊」とは、子供たちが楽しみながらまちにある防災・防犯・交通安全に関する施設や設備などを見て回り、マップにまとめる実践的な安全教育プログラムです。子供たちの防災・防犯・交通安全意識が向上するほか、まち探検を通じた地域への関心・愛着が生まれる効果が期待できます。また、専用タブレットを利用して安全マップを作成することもできるため、ICT教育推進の一助にもなります。

プログラムの内容

必要コマ数 3～5コマ

■プログラムの流れ

◎指導者の事前準備

- 探検の目的を決定（例：通学路の危険箇所を見つけ、事故に遭わないために注意する点を話し合う）
- 探検コースの下見
- タブレットを使った「デジタルマップ」、「模造紙マップ」のどちらを作成するか決定

◎まち探検当日（時間配分・進め方の一例）

1. 集合・事前学習（30分）
探検前にまちの危険などを学習するため、まち歩き時の注意点を子供たちに指導し、どのような所を探せばよいか、マップづくりのポイントなどを教えます
2. グループ編成（30分）
グループごとに集まって、班長・副班長・地図係・インタビュー係などの役割を決めます
3. まち探検（フィールドワーク）に出発（60分）
危険な場所や「子ども110番の家」のような安全な場所を見つけたら、白地図にシールを貼ったり、ワークシートやタブレットに書き込んだりします
地域の方や警察署・消防署などの方にインタビューしてみましょう
(あらかじめ許可を得ておくことでインタビューがスムーズに進みます)
4. マップづくり（60分）
・模造紙マップの場合の準備品
 - 記入したワークシートとインタビューシート ●撮影した写真プリント ◎模造紙 ●スティックのり ●はさみ ●マジック（5～6色） ●ポストイット（4色あると便利。シールと色を合わせるとよい） ●マークシールなど
 ※デジタルマップは、タブレットへの入力のみでマップが自動で作成されるため、準備品はありません。
5. マップ完成、マップ発表会
クラス内などで、グループごとに作成したマップについて発表し、探検で見つけた気づきを共有します。
(タブレットでマップを作成した場合は、電子黒板などに映し出してクラス内で共有することができます)



まち探検の様子



マップづくりの様子

第20回マップコンクール作品例



模造紙マップ

デジタルマップ

ぼうさい探検隊特設サイト



ぼうさい探検隊

検索

令和4・5年度実績	<input checked="" type="checkbox"/> 小学校 <input type="checkbox"/> 中学校 <input type="checkbox"/> 高校 <input type="checkbox"/> 特別支援学校 <input type="checkbox"/> その他（ ）
	令和4年度実績（都内） 10校（回） 令和5年度実績（都内） 14校（回）
	<input checked="" type="checkbox"/> 教科（社会科） <input type="checkbox"/> 道徳 <input checked="" type="checkbox"/> 総合的な学習の時間 <input checked="" type="checkbox"/> 特別活動（クラブ活動、生徒会活動等） <input checked="" type="checkbox"/> 教育課程外（放課後子供教室、夏休み等の長期休業期間等） <input type="checkbox"/> 教員対象研修 <input type="checkbox"/> PTA等保護者対象研修 <input checked="" type="checkbox"/> 学童クラブ・児童館等のイベント <input type="checkbox"/> その他（ ）

支援活動の概要紹介

日本損害保険協会は、損害を未然に防ぐ教育や地域防災の意識向上の活動を支援しており、その一環として「ぼうさい探検隊」の普及に取り組んでいます。また、2004年度からは毎年、文部科学省などの教育関係機関等に後援いただき、「小学生のぼうさい探検隊マップコンクール」を実施しています。これまでの参加人数は計227,000人を超え、作品数は34,000点を超えます。2023年度においては、全国658もの小学校や児童館などから、8,904人が参加し、1,708点の作品をご応募いただきました。詳しくは上記QRコードより、「ぼうさい探検隊特設サイト」をご確認ください。

対応可能な時期	その他 資料提供はしておりますが、講師派遣は行っておりません。	必要経費	無料
その他 会場・定員・必要備品などについて	コンクールにご応募される方には、以下のご提供を行っております。 ①まち探検のノウハウをコンパクトにまとめた「実施マニュアル」、事前学習に役立つ手引きを無料提供 ②マップ作成アプリを搭載した当協会オリジナルタブレットの無料貸出し ③模造紙マップ作成時に使える実施キットの無料提供（模造紙1枚、マジック5色、マークシール5色、ポストイット1個）		
連絡先	部署名・担当者	業務企画部啓発・教育・防災グループ（立川、杉村）	
	プログラム紹介 WEB	https://www.sonpo.or.jp/about/efforts/reduction/bousai_sp/	
	電話	03-3255-1215	
	e-mail	keihatsu@sonpo.or.jp	

プログラム名	お互いを尊重しあえるコミュニケーションプログラム		
団体名	一般社団法人日本ナンバーワントレーナー協会	区分	講 義
対象者	<input type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 高 小学生の場合は3年生以上対象となります。	対象分野	研修
		教員、保護者ともに相手の視点に立ったコミュニケーションが可能なため	

プログラムのねらい

自分の視点と相手の視点がずれてしまうことや相手との解釈のズレにより、気が合うか合わないかお互いの「価値観」が違うなど相手への評価判断になってしまい人間関係がぎくしゃくしてしまう。このプログラムはどんな相手であっても相手の視点を尊重し、たとえ違う国であっても、お互いのコミュニケーションで効果的な人間関係を構築することを目的とする。

プログラムの内容

必要コマ数 1、2（要相談）コマ

■プログラムの流れ

- ①導入（5分）
自己紹介
本日の流れ説明
- ②講義（10分）
今回のプログラムの目的
それぞれの「視点」の違いを通して自分と相手の観方を尊重し、コミュニケーションの簡単な方法を実践する。
- ③ワーク（10分）
図形や写真をつかってそれぞれの観方をシェアしあう
また自分と相手の視点がずれてしまった場合はどうするのかをシェアしあう。
- ④講義（5分）
それぞれの「聴き方」の違いを通して自分から出てくる言葉工夫してみる。
- ⑤ワーク（10分）
今まで嫌だと思った言葉が自分にどんな意味に聞こえたのかをシェアする。
自分から出てくる言葉が相手にどのように伝わるのか？また相手のいった言葉がどう聞こえるのか？
気づくことでどう伝えたらいいか1つだけ考えてみる。
- ⑥まとめ（5分）
講義前半の視点と後半の聴き方のポイントや簡単なコミュニケーション方法を会得



令和4・5年度実績	<input checked="" type="checkbox"/> 小学校 <input checked="" type="checkbox"/> 中学校 <input checked="" type="checkbox"/> 高校 <input type="checkbox"/> 特別支援学校 <input type="checkbox"/> その他（ ）	令和4年度実績（都内） 12校（回）	令和5年度実績（都内） 15校（回）
	<input checked="" type="checkbox"/> 教科（人間と社会の授業の一環として） <input type="checkbox"/> 道徳 <input type="checkbox"/> 総合的な学習の時間 <input type="checkbox"/> 特別活動（クラブ活動、生徒会活動等） <input type="checkbox"/> 教育課程外（放課後子供教室、夏休み等の長期休業期間等） <input checked="" type="checkbox"/> 教員対象研修 <input checked="" type="checkbox"/> PTA等保護者対象研修 <input type="checkbox"/> 学童クラブ・児童館等のイベント <input type="checkbox"/> その他（ ）		

支援活動の概要紹介

体育館を使用したり、視聴覚教室を使用したり、教室で参加していただいたり様々です。コロナの時は各教室に音声と画像が流れるようにZOOMで対応させていただきました。オンラインも可能です。

対応可能な時期	日程が合えば随時可能	必要経費	要相談（実費等）
その他 会場・定員・必要備品などについて	プロジェクター、スクリーンを用意してください。また、学生にはそれぞれノートと筆記用具がワークの際に手書き出来るようなA4のコピー用紙を1枚ずつご用意ください。		
連絡先	部署名・担当者	研修担当 中澤仁美 田中恵美	
	プログラム紹介 WEB		
	電話	080-4337 - 1595	
	e-mail	nakazawa@1trainer.jp	

プログラム名	弁理士による知的財産特別授業		
団体名	日本弁理士会関東会		区分 講
対象者	小 中 高	対象分野	学校 学外

プログラムのねらい

小中高等学校への知的財産教育支援活動

- 早い段階での知的財産教育の必要性
知的財産教育とは、自由な発想、創意工夫の心を涵養するものであるとともに、年齢に応じた知的財産制度の理解を図り、ひいては我が国における知識経済社会を支える人的資源の育成のための端緒を開こうとするものであります。この教育はなるべく早い段階から行うことが効果的であり、我が国の将来を担う小中高校生に対する知的財産教育の支援を継続的に行うことが必要であると考えています。
- 知的財産特別授業の狙い
 - 小学校向け知財特別授業 小学生向けの知財教育として、次のような狙いの授業を行います。
 - 「知財授業」
 - 優れた発明に触れることにより、発明を生み出す人間の知恵と可能性について学び、これを生み出す人間の尊厳について考える。
 - 自然の中にある不思議に触れるとともに、その理由をひも解き、考える力と応用する気持ちを育てる。
 - 発明を通じて未来への夢を刺激する。
 - 「発明工作授業」
 - 課題解決型の工作授業を通じて、課題を解決するための手段（完成例・正解例）が一つではないことを理解してもらう。
 - 失敗は成功のもとであり、決して無駄にならないことを理解してもらう。
 - 中高等学校向け知的財産特別授業 中高生向けの知財教育として、次のような狙いの授業を行います。
 - 社会教育の一環として、知的財産権制度の概要を理解する。
 - 他人の知的財産の尊重の必要性につき考える。
 - 優れた発明に触れることにより、発明を生み出す人間の知恵と可能性について学び、これを生み出す人間の尊厳について考え、併せてその保護の必要性につき理解する。
 ※中高生向けに「発明工作授業」を行なうことも可能です。
 - 小中高等学校向けキャリア教育授業
知財にかかわる専門職である弁理士について、その資格取得方法、仕事内容、キャリア形成などについて紹介し、子供たちの将来への可能性や職業の選択肢の幅を広げる。

プログラムの内容

小学生向け具体例

- 「発明ってなあに？」15分程度
電子紙芝居（パソコン用パワーポイントソフトで作成）などを用いて楽しく「発明」のお話をします。
- 「発明工作授業」45分程度
子供たちにテーマと材料を与え、自らのアイデアをもとに工作をしてもらいます。
「解決方法は1つではない。失敗は成功のもと。」という事をモノ作りを通して実感し、学ぶことができます。
※より具体的な授業例については、弊会HPにも掲載がございますので是非御覧頂けますと幸いです。
<https://ipe.jpaa-kanto.jp/examples/>

令和4・5年度実績	<input checked="" type="checkbox"/> 小学校 <input checked="" type="checkbox"/> 中学校 <input checked="" type="checkbox"/> 高校 <input type="checkbox"/> 特別支援学校 <input type="checkbox"/> その他（ ） 令和4年度実績（都内）14校（回） 令和5年度実績（都内）17校（回）
	<input type="checkbox"/> 教科（ ） <input type="checkbox"/> 道徳 <input type="checkbox"/> 総合的な学習の時間 <input type="checkbox"/> 特別活動（クラブ活動、生徒会活動等） <input checked="" type="checkbox"/> 教育課程外（放課後子供教室、夏休み等の長期休業期間等） <input type="checkbox"/> 教員対象研修 <input type="checkbox"/> PTA等保護者対象研修 <input checked="" type="checkbox"/> 学童クラブ・児童館等のイベント <input type="checkbox"/> その他（ ）

支援活動の概要紹介

日本弁理士会関東会では、知的財産権に関する専門家である弁理士を小中高等学校に派遣して、知的財産を理解してもらうための知的財産特別授業（出前授業）を行っています。これは、政府により発表されている「知的財産推進計画」の趣旨を受けて、知的財産に関する子供たちへの教育や啓発の充実のために、当会が実施している施策の一つであります。当会では、この知的財産特別授業を通じて、未来を担う子供たちの「知的財産マインド」を育成し、子供たちに、問題の解決や探究活動に主体的、創造的に取り組む姿勢を身に付けてもらいたいと考えています。

対応可能な時期	日程が合えば随時可能 3/10～3/31を除く	必要経費	要相談（実費等） 実費：講師料、材料費等 費用負担については直接お問い合わせください。
その他 会場・定員・必要備品などについて	上記以外にもたくさんのコンテンツがあります。ご希望の場合、パンフレットを送付しますので、03-3519-2751 までご連絡ください。一部のコンテンツについては、(https://ipe.jpaa-kanto.jp/about/ または https://www.jpaa.or.jp/activity/teaching/) に公開しています。 必要備品：PC、プロジェクター、スクリーンをご用意ください。 予算や開催時期の関係上、ご希望に沿うことができない場合もございます。		
連絡先	部署名・担当者	日本弁理士会関東会事務局 知財教育担当	
	プログラム紹介 WEB	https://ipe.jpaa-kanto.jp/	
	電話	03-3519-2751	
	e-mail	edu-kanto@jpaa.or.jp	

プログラム名	助産師によるいのちの話 ～親子で聞く性教育～		
団体名	一般社団法人ファミリード	区分	講 義
対象者	<input type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 他	PTA 関係者、親子講座なども対象とする。	対象分野 <input type="checkbox"/> 学外 <input type="checkbox"/> 研修

プログラムのねらい
<ul style="list-style-type: none"> ・ どうやって生まれてきたのかを知ることで、自分を大切に思い、自分で自分の身体を守るようになる。 ・ いつかは我が子と向き合うことになる性教育について、子供からの性に対する素朴な疑問に答えられるようになる

プログラムの内容	必要コマ数 1 (相談可) コマ
分からないことだらけの性教育を分かりやすく明るく、助産師の経験も含めてお話しします。楽しくじっくり性教育の話ができるきっかけになる講座です。	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 命の始まり ・ ママのお腹の中での様子 (妊娠中の赤ちゃんの成長) ・ 出産 ・ 自分の身体を守るために知っておく事 ・ 現在の性の状況 ※保護者のみ、親子で一緒など、色々なケースに対応します。 ※保護者の方のご希望によって下記内容も検討いたします。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 身体の変化 (月経、精通等) ・ 性交、避妊、中絶、STD (性行為感染症) 等 受講された保護者様、お子様、生徒さん、先生方から「すごく安心した」「もっと早く知りたかった」「すごくわかりやすかった」等のお声をいただいています。(アンケート結果からは、ほぼ全員の方から「満足！」との回答をいただいています。)	
ほかに下記講座を行っています。 ≪我が子の自己肯定感をあげる魔法の言葉講座≫ ≪すぐ疲れて姿勢の悪い現代っ子の身体の治し方講座≫	
他にも親子でのコミュニケーション、プログラミング、家事、栄養学、おこづかい教室など多くの保護者向けプログラムがございます。 詳しくはファミリードのHPをご覧ください。	



令和4・5年度実績	<input checked="" type="checkbox"/> 小学校 <input checked="" type="checkbox"/> 中学校 <input type="checkbox"/> 高校 <input type="checkbox"/> 特別支援学校 <input type="checkbox"/> その他 ()	令和4年度実績 (都内) 3校 (回)	令和5年度実績 (都内) 4校 (回)
	<input type="checkbox"/> 教科 () <input type="checkbox"/> 道徳 <input type="checkbox"/> 総合的な学習の時間 <input type="checkbox"/> 特別活動 (クラブ活動、生徒会活動等) <input checked="" type="checkbox"/> 教育課程外 (放課後子供教室、夏休み等の長期休業期間等) <input type="checkbox"/> 教員対象研修 <input checked="" type="checkbox"/> PTA等保護者対象研修 <input type="checkbox"/> 学童クラブ・児童館等のイベント <input type="checkbox"/> その他 ()		

支援活動の概要紹介			
「教育の基本は家庭」という私たちの考えから、「保護者が学びをリードする、そして親子が楽しみながら学べる環境作りをお手伝いしたい」という想いから、保護者向けの講座開催の手伝いをしています。上記の金融教育だけでなく、未来の世界を担う子供たちの生きる力を養うための栄養学・消費者教育・金融教育・キャリア・コミュニケーション等さまざまな分野の講座開催をすることで、保護者が家庭教育で活用のヒントを得られるような講座の開催をしています。			
対応可能な時期	日程が合えば随時可能	必要経費	要相談 (実費等)
その他 会場・定員・必要備品などについて	効果的な授業とするため、スクリーン・プロジェクターの用意をお願いすることがあります。		
連絡先	部署名・担当者	代表 星谷みよ子 ・ 副代表 亀谷さおり	
	プログラム紹介 WEB	https://familead-edu.org/	
	電話	03-5313-8182・090-9027-5174	
	e-mail	info@familead-edu.org	

プログラム名	情報収集・整理力アップワークショップ		
団体名	一般社団法人 Fora	区分	講 義 教
対象者	<input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 高	対象分野	<input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 研修
弊団体が直接、生徒に授業する場合でも、教員の皆様に研修を行いう場合でもどちらでも可能です。			

プログラムのねらい

大学や社会に出てからも必要となる、情報収集・整理の技法を学ぶ授業です。高等学校の「総合的な探究の時間」における探究学習を推進していく上でも、活用できる能力になっております。

プログラムの内容 必要コマ数 2コマ

■概要
 高校での探究学習において、自分の問いを深めていく過程で重要な「情報収集」の力を育むことに特化したワークショップです。高校での探究学習に焦点を当てていますが、外資系コンサルティング会社と共同開発をしており、大学や社会に出てからも発揮できる能力の育成にもつながります。

■目標
 自分がすでに持っている情報を整理し、「何を知りたいのか」を明確にして情報収集の目的を設定し、的確な調査方法や情報源を組み合わせながら情報収集を行うことができるようになることを目指します。

■ワークショップの種類
 目的に応じて下記3つより選ぶことができます。単独でも、組み合わせでの実施も可能です。

①情報整理編
 自分がすでに知っている情報や集めてきた情報を整理し、「わかっていること/わかっていないこと」を明確にすることで、新しい発見や問いを導き出す方法を学びます。

②情報収集編
 実際に情報を収集する方法について学びます。具体的には、Web記事や文献などを探すコツや、アンケートやインタビューを行うときに重要なポイントについてお伝えします。

③調査計画編
 情報収集の目的を設定し、目的に応じて適切な調査方法を組み合わせ、行動スケジュールを立てる方法を学びます

※上記の他にも、サステナビリティを学び、考えるワークショップも実施しております。SDGsやサステナビリティを、「知識」としてではなく、「考え方」として伝えつつ、身近な例から、そもそも持続性とはなにかを考えつつ、課題解決のためにはなにが必要か、実際に体験するワークも提供しています。

令和4・5年度実績	<input type="checkbox"/> 小学校 <input checked="" type="checkbox"/> 中学校 <input checked="" type="checkbox"/> 高校 <input type="checkbox"/> 特別支援学校
	<input type="checkbox"/> その他 () 令和4年度実績 (都内) 3校 (回) 令和5年度実績 (都内) 3校 (回)
	<input checked="" type="checkbox"/> 教科 (総合的な探究の時間) <input type="checkbox"/> 道徳 <input type="checkbox"/> 総合的な学習の時間 <input type="checkbox"/> 特別活動 (クラブ活動、生徒会活動等) <input type="checkbox"/> 教育課程外 (放課後子供教室、夏休み等の長期休業期間等) <input type="checkbox"/> 教員対象研修 <input type="checkbox"/> PTA等保護者対象研修 <input type="checkbox"/> 学童クラブ・児童館等のイベント <input type="checkbox"/> その他 ()

支援活動の概要紹介

学校向けに、探究学習・キャリア教育の教材・プログラムを導入しております。

対応可能な時期	日程が合えば随時可能	必要経費	無料 交通費のみ実費でいただきます
---------	------------	------	----------------------

その他
 会場・定員・必要備品などについて

連絡先	部署名・担当者	広報部 渡邊 伶
	プログラム紹介 WEB	https://fora.or.jp/school/skill-up-workshop/
	電話	03-6822-4100
	e-mail	info@fora.or.jp

プログラム名	世界の現状を知り、自分にできることを考えてみよう！		
団体名	特定非営利活動法人フリー・ザ・チルドレン・ジャパン		区分 講 師 教
対象者	<input type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 他	小学5年生～ ※学習の状況により低学年も可能 対象分野 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 研修	総合、道徳、家庭科、英語の授業、教職員向けはESDに関する研修での実績あり。

プログラムのねらい

国内外の社会問題やSDGs理解について、海外支援先に訪問して、現地の様子を把握しているファシリテーターが生のお話を伝えます。社会問題を学ぶだけで終わらず、それらの社会問題を解決するために、一人ひとりがどう動きたら良いかを考え、実行に移せるよう後押しいたします。
 ワークショップ形式で、ゲームなどを取り入れながら学び、個人々の特性を生かしたアクションの起こし方を学んでいきます。
 1回の授業で終わりではなく、社会に向けてアクションを起こしたい、という児童・生徒のアフターフォローも丁寧に対応しております。

プログラムの内容

必要コマ数 2コマ

※児童・生徒の状況に併せ授業をカスタマイズで作成させていただいております。下記は一例です。詳しくは、お問合せください

■テーマ・目的 SDGsがなぜ策定されたのか背景を探り、自分に出来ることを考える

■授業の流れ

導入 5分 はじめに

ワークショップ① 35分 ワールドマップ

講義・クイズ 15分 世界の子供 (SDGs1-8のゴールにフォーカス、子供の権利を考える)

講義・紹介 10分 アクションを起こした12歳の少年の話、同年代のアクション紹介

ワークショップ② 15分 得意なことを活かしてアクションを起こす方法 (Gift+Issue=Change)

まとめ 5分

■ワークショップ紹介

《ワールドマップ》

世界の格差を体感してもらうワークです。

児童・生徒全員を大陸ごとの人口割合を基にグループ分けし、各大陸のオリンピックメダル獲得数・食料消費量・お金持ちの人数などの割合を予想していただきます。

解説では、各テーマの詳しい状況や大陸内・国内にも格差があることも説明し、丁寧に振り返りを行います。

《クイズ：世界の子供》

全員参加型の3択クイズ形式で、水へのアクセス、学校への進学率、学校に通えずに働いている子供達の生活などに関する質問に答えます。教育を受けられない根底の理由である「貧困」について考えていきます。

《Gift+Issue=Change》

Gift (自分の得意なこと・好きなこと) を活かして、Issue (興味のある社会問題) に対して取り込む事で、身近なところからワクワクするChange (変化のための行動) を起こすことができるという考えをもとに、自分にできることを考えるワークです。それぞれの好きなことを書き出し、ゲーム感覚でアイデアを出していきます。



令和4・5年度実績	<input checked="" type="checkbox"/> 小学校 <input checked="" type="checkbox"/> 中学校 <input checked="" type="checkbox"/> 高校 <input type="checkbox"/> 特別支援学校 <input type="checkbox"/> その他 ()	令和4年度実績 (都内) 30校 (回)	令和5年度実績 (都内) 30校 (回)
	<input checked="" type="checkbox"/> 教科 () <input checked="" type="checkbox"/> 道徳 <input checked="" type="checkbox"/> 総合的な学習の時間 <input checked="" type="checkbox"/> 特別活動 (クラブ活動、生徒会活動等) <input type="checkbox"/> 教育課程外 (放課後子供教室、夏休み等の長期休業期間等) <input checked="" type="checkbox"/> 教員対象研修 <input checked="" type="checkbox"/> PTA等保護者対象研修 <input checked="" type="checkbox"/> 学童クラブ・児童館等のイベント <input checked="" type="checkbox"/> その他 ()		

支援活動の概要紹介

「世界は変えられる」子供がそう信じられる社会を目指して、国内外で活動しています。日本の子供達に向け、「子供や若者は助けられるだけの存在ではなく、自身が変化を起こす担い手である」という考えを伝えながら、子供達と一緒にフィリピン・インド・ケニアの貧困地域の家庭が自立できるよう支援事業を行っています。
 国内では、子供達のアクションサポート、出前授業や国際理解の教材開発と無料提供、子供の権利を広める活動に力を入れています。

対応可能な時期	日程が合えば随時可能 2コマいただくとワークショップ形式で授業を進めさせていただきます。	必要経費	有料 都内交通費込で3万円 助成金補填ができる場合があります。ご相談ください。
その他 会場・定員・必要備品などについて	ワークショップ形式で授業を進めさせていただくため、体育館等広いスペースの確保をお願いいたします。 スクリーン・プロジェクター・マイクのご用意をお願いします。 ワークショップの内容により、模造紙や付箋、白紙をお願いする場合がございます		
連絡先	部署名・担当者	フリー・ザ・チルドレン・ジャパン 出前授業担当 出野・広瀬	
	プログラム紹介 WEB	https://ftcj.org/we-movement/facilitator	
	電話	03-6321-8948	
	e-mail	info@ftcj.org	

プログラム名	カードゲームで学ぶキャリア図鑑		
団体名	株式会社マイナビ		区分 講 教
対象者	中 中学1年生～3年生までを対象（推奨は2年生）。	対象分野	学校

プログラムのねらい

中学生に将来や社会参加を考えるきっかけを提供する、2コマ連続（1コマ@50分）のプログラム。
1コマ目は、カードゲームを通して多様な業種や職種を知り、2コマ目で職業の連携や仕事を通じた多様な社会について学ぶことで、キャリアプランニング能力の土台を築くことを目指す。

プログラムの内容

必要コマ数 2コマ

●プログラムの実施形式

1クラス、授業の進行役と講師役の2名で進める。生徒は1グループ4～5名に分かれ、グループで取り組む。また2コマ連続プログラム。

●プログラムの流れ

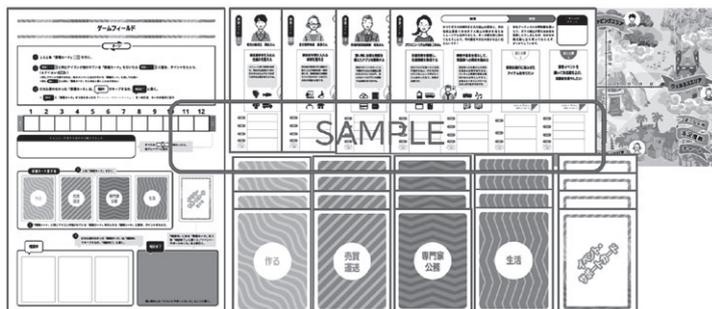
① 1時間目（50分）

- 1-1 導入（5分）：授業テーマの提示
- 1-2 展開（45分）：カードゲームを通して多様な業種・職種について知る
L アニメーションでゲームの設定やプレイ方法を伝える（15分）
L 班ごとにカードゲームをプレイする（30分）

休憩（10分）

② 2時間目（50分）

- 2-1 展開（20分）：カードゲームを振り返るグループワーク
- 2-2 展開（20分）：課題シートの解説、業種連携などを学ぶ
- 2-3 展開（5分）：多様な勤労観の解説、企業事例の紹介
- 2-4 まとめ（5分）：講師からのメッセージ



令和4・5年度実績	<input type="checkbox"/> 小学校 <input checked="" type="checkbox"/> 中学校 <input type="checkbox"/> 高校 <input type="checkbox"/> 特別支援学校 <input type="checkbox"/> その他（ ） 令和4年度実績（都内） 校（回） 令和5年度実績（都内） 校（回）
	<input type="checkbox"/> 教科（ ） <input type="checkbox"/> 道徳 <input checked="" type="checkbox"/> 総合的な学習の時間 <input type="checkbox"/> 特別活動（クラブ活動、生徒会活動等） <input type="checkbox"/> 教育課程外（放課後子供教室、夏休み等の長期休業期間等） <input type="checkbox"/> 教員対象研修 <input type="checkbox"/> PTA等保護者対象研修 <input type="checkbox"/> 学童クラブ・児童館等のイベント <input type="checkbox"/> その他（ ）

支援活動の概要紹介

弊社では、人々のキャリアに寄りそい、より良い職業人生や生活を送れるように様々な支援を行う事業を展開しています。本プログラムは、弊社の社会貢献事業の一貫として取り組んでいます。詳しくは、お問合せください。

対応可能な時期	日程が合えば随時可能 サービスの内容による	必要経費	無料 後日弊社HPに実施実績として、学校名・学年・クラス数・人数を掲載させていただきます。
その他 会場・定員・必要備品 などについて	<ul style="list-style-type: none"> ・本プログラムは、各教室で実施予定です。教室ではプロジェクターとスクリーンを用意してください。 ・事前に資料を送付します。当日は必ずご用意ください。また授業終了後に着払伝票を準備します。一部資料の返送をお願いいたします。 ・生徒のグループ分けをお願いいたします（1グループ4名。4名未満のグループはつくらない）。 ・授業後のアンケートにご協力をお願いします。 ・授業の様子を写真撮影できればと思います（表情が映る場合は同意書あり）。撮影時に配慮が必要な場合は事前にご連絡ください。 		
連絡先	部署名・担当者	社長室サステナビリティ推進部・今井 普彦	
	プログラム紹介 WEB	https://www.mynavi.jp/news/2024/05/post_43415.html	
	電話	050-3353-8374	
	e-mail	kr-sust@mynavi.jp	

プログラム名	豊かな演奏体験の創出と専門家による指導による吹奏楽支援プログラム		
団体名	株式会社 massenext	区分	講 他 ()
対象者	<input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> 他 ご希望に応じて幅広く対応することが可能です。	対象分野	<input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 学外 <input type="checkbox"/> 研修

プログラムのねらい

本プログラムでは、吹奏楽の専門指導に課題を抱える学校・教員・吹奏楽部生徒への支援として、学校の垣根を超えて、有志が集まった生徒で結成した合同バンドでの吹奏楽コンサートを開催し、プロの演奏家による指導・共演などを通して、教員の負担軽減や生徒へ学校内だけでは経験できない演奏体験を与えることを目的としています。
また、コロナ禍ではリモート演奏動画の制作を行ったり、希望に応じてプロ奏者の演奏会や初心者を対象とした講習会を行うなど、境遇や必要性に応じた柔軟なプログラム内容を提供し、子供たちが音楽に触れる機会を作り、音楽への興味を引き出すことも目指しています。

プログラムの内容

■中学生向け具体例①

有志が集まった吹奏楽部生徒へ、プロの演奏家・指揮者を迎え、大きなホールでの演奏会を目指してレッスンをを行います！

【レッスン実施日スケジュール例】

- 10:00 生徒集合、練習開始
- 10:00～12:00 午前練習（基本的な奏法、譜読みなど）
- 12:00 お昼休憩
- 13:00～15:00 午後練習（セクションごとの分奏・合奏など）
- 15:00 解散

《実績》

大田区 JHS ウインドオーケストラ事業 (<https://www.ota-bunka.or.jp/event/sponsored/jhs>)
平成29年度から開催している（公財）大田区文化振興協会と大田区教育委員会の共催の吹奏楽部生徒支援事業です。

■中学生向け具体例②

プロの演奏家を派遣し、コンサートをを行います。吹奏楽に触れることの少ない生徒へも音楽の素晴らしさを体験してもらいます！

《実績》

令和5年11月に大田区立大森第二中学校にて、一年生を対象とした金管五重奏のコンサートをを行いました。
馴染みのある楽曲を金管楽器のアレンジで演奏しながら、楽器や楽曲にまつわる歴史を楽しく解説しました。

令和4・5年度実績	<input type="checkbox"/> 小学校 <input checked="" type="checkbox"/> 中学校 <input type="checkbox"/> 高校 <input type="checkbox"/> 特別支援学校 <input type="checkbox"/> その他 () 令和4年度実績（都内） 8校（回） 令和5年度実績（都内） 7校（回）
	<input type="checkbox"/> 教科 () <input type="checkbox"/> 道徳 <input type="checkbox"/> 総合的な学習の時間 <input checked="" type="checkbox"/> 特別活動（クラブ活動、生徒会活動等） <input checked="" type="checkbox"/> 教育課程外（放課後子供教室、夏休み等の長期休業期間等） <input type="checkbox"/> 教員対象研修 <input type="checkbox"/> PTA等保護者対象研修 <input type="checkbox"/> 学童クラブ・児童館等のイベント <input type="checkbox"/> その他 ()

支援活動の概要紹介

弊社では、音楽・映像などの芸術作品をより世に広めるための各種プログラムやイベントの企画・制作・運営などを実施しています。
詳細については、お気軽にお問い合わせください。

対応可能な時期	日程が合えば随時可能	必要経費	要相談（実費等）
その他 会場・定員・必要備品 などについて	地域の学校や自治体の施設と協力をし、施設練習ができる教室のご提供をお願いしています。		
連絡先	部署名・担当者	坂上	
	プログラム紹介 WEB	https://www.ota-bunka.or.jp/event/sponsored/jhs	
	電話	03-5843-0527	
	e-mail	info@massenext.jp	

プログラム名	何を書いたらいいか悩まない！ 空色ことば教室オンライン「読書感想文ツアーズ」		
団体名	特定非営利活動法人マナビエル	区分	講 師 教
対象者	<input type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> こ <input type="checkbox"/> 他	推奨学年は小学3～中学1年生くらい、それ以上の学年は作文・意見文・小論文も対応可 対象分野 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 学外 <input type="checkbox"/> 研修	●教員向け指導手順の研修 ●保護者向け教育講座も実施可能

プログラムのねらい

【定義・ポイント】読書感想文は「ことばで自分を伝える場」
 【学習のねらい】ことばで自分を伝えることの大切さを学び、自分らしい視点に自信が持てる
 【ゴールの姿】子供たちが何を書いたらいいかわかり、書きたい！次も書けそう！と思える原動力を生む
 (大人向け) 読書感想文で育む自己表現の力が、作文・意見文・小論文はもちろん、選抜試験や就職などの自己実現にもつながる

プログラムの内容

必要コマ数 1コマ

【学習の3ステップ】

- ①本の中で自分らしい視点・感情・意見と出会う…本を読み親しむことで、想像を巡らせ、多様性を知り、自分らしさに自信が持てる
- ②それを言語化する方法を体験する…自分の感情や意見には正解・不正解はないことを知り、素直に言語化する体験を重ねる
- ③文章表現の苦手意識をなくす…作文に苦手意識を持つことなく、ことばで自分を表現し伝えることの楽しさと喜びを知る



導入 /10分

(1) 音読ワーク…あるテーマの文章を提供、みんなで読み合わせ

準備ワーク /10分

(2) ピントをあわせるワーク…一人ひとり気持ちや考えは違うことを知る

レクチャー /10分

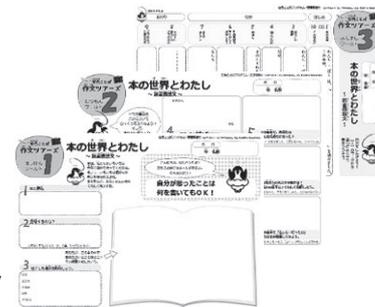
(3) 読書感想文の3つの心がまえ…苦手意識を持たずに取り組める3つの視点
 1、心が動いたところに焦点をあてる 2、自分の気持ちや考えが大事 3、正解はない

メインワーク /10分

(4) 空色ことばワークシート…書き始めは自分の感情や意見から

しめくり /5分

(5) ワークシート活用の説明…自分で書き進められる読書感想文のためのオリジナルワークシートを差し上げます



※2コマの場合は、(4)のメインワークでワークシートを最後まで書き進め、(5)でグループ共有の時間を設けます

※教員向けの場合は、ことばで自分を伝える力のサポート方法、ワークシートを進める際のかかわり方や問いかけ方をご説明します

※保護者向けの場合は、ことばで自分を伝える力が将来に向けてどのように求められているか、親だからできるかかわり方をお伝えします

令和4・5年度実績	<input checked="" type="checkbox"/> 小学校 <input checked="" type="checkbox"/> 中学校 <input type="checkbox"/> 高校 <input type="checkbox"/> 特別支援学校 <input checked="" type="checkbox"/> その他(民間学童、東京都以外の小学校、生涯学習課の企画講座) 令和4年度実績(都内) 校(回) 令和5年度実績(都内) 校(回)
	<input type="checkbox"/> 教科() <input type="checkbox"/> 道徳 <input checked="" type="checkbox"/> 総合的な学習の時間 <input type="checkbox"/> 特別活動(クラブ活動、生徒会活動等) <input checked="" type="checkbox"/> 教育課程外(放課後子供教室、夏休み等の長期休業期間等) <input type="checkbox"/> 教員対象研修 <input type="checkbox"/> PTA等保護者対象研修 <input checked="" type="checkbox"/> 学童クラブ・児童館等のイベント <input type="checkbox"/> その他()

支援活動の概要紹介

弊団体は、一人ひとりの自分らしいことばを引き出し、多様なことばの表現の場を創る団体です。〈言語化〉が、自己理解・自己表現につながり、自己実現への道を切り開くことを伝えています。目に見えないものや正解のない問いに対して「ことばにする」出張授業、ワークショップの進行デザイン、ツールやワーク教材の制作、対話のファシリテーションなど行っています。読書感想文のオンライン1コマの基本ワークショップ以外にも、条件により対応可能です。

対応可能な時期	日程が合えば随時可能	必要経費	無料 左記はオンライン実施の場合(学校で対面実施の場合は交通費を希望)
その他 会場・定員・必要備品などについて	オンライン実施のために必要な教室環境(zoom、Google meet など)のご準備と、先生のサポートをお願いします。また、可能であれば使用可能な共有アプリ(スクールタクト・ロイロノートなど)のトライアル活用もご相談させていただきます。		
連絡先	部署名・担当者	代表理事 / 志田、理事 / 松田、ファシリテーター / 門田	
	プログラム紹介 WEB	マナビエル WEB サイト https://manabi-el.org/ 空色ことば教室サイト https://sorairokotoba.com/	
	電話	03-6822-7561	
	e-mail	info@manabi-el.org	

プログラム名	キャッシュレス決済のしくみとクレジットカード		
団体名	三井住友カード株式会社	区分	講 義
対象者	中 高	対象分野	学校

プログラムのねらい

キャッシュレスで私たちの生活が便利になる中で、メリットだけではなくその仕組みや注意点を学習することで、適切な判断ができる消費者になること。

プログラムの内容

必要コマ数 1コマ

中学生向け授業例

本プログラムではキャッシュレス決済の仕組み、メリットや注意点をパワーポイントを使って、講義形式で行います。また講義の中にはクイズや生徒間でディスカッションをする時間を設けております。実際の授業例は以下の通りです。

STEP1：会社紹介（5分）

STEP2：キャッシュレス決済について（10分）

多種多様な「キャッシュレス決済」の仕組みや特徴について解説。
キャッシュレス決済のメリット・デメリットを理解し、自分にあったキャッシュレス決済を考える。

STEP3：日本と世界のキャッシュレス（10分）

日本国内におけるキャッシュレスの普及状況や海外との違いについて解説。

STEP4：クレジットカード決済の基本（10分）

クレジットカードのメリットやカードを選ぶうえでのポイントを解説。
リボ払いのしくみや、クレジットカードを利用する上での注意点を解説。

STEP5：金融トラブルについて（10分）

フィッシング詐欺など自分たちの身の回りで起こりうる金融トラブルを一緒に考える。
トラブルに巻き込まれないために気をつけるポイントと、巻き込まれた場合どうすれば良いのか解説。

STEP6：まとめ、質疑応答（5分）

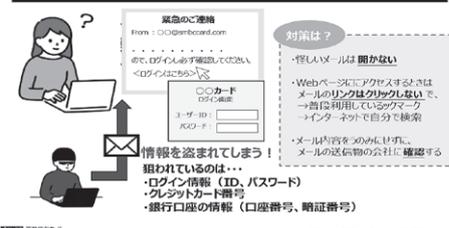
◆その他

授業の内容はご要望に応じて調整可能です。
授業時間は1コマ50分で完結できる構成となっております。

5. 金融トラブルについて

P.31

不正利用（フィッシング詐欺）



令和4・5年度実績	<input type="checkbox"/> 小学校	<input checked="" type="checkbox"/> 中学校	<input checked="" type="checkbox"/> 高校	<input type="checkbox"/> 特別支援学校
	<input type="checkbox"/> その他 ()	令和4年度実績 (都内) 校 (回)		令和5年度実績 (都内) 校 (回)
	<input type="checkbox"/> 教科 ()	<input type="checkbox"/> 道徳	<input checked="" type="checkbox"/> 総合的な学習の時間	<input type="checkbox"/> 特別活動 (クラブ活動、生徒会活動等)
	<input type="checkbox"/> 教育課程外 (放課後子供教室、夏休み等の長期休業期間等)	<input type="checkbox"/> 教員対象研修	<input type="checkbox"/> PTA 等保護者対象研修	
	<input type="checkbox"/> 学童クラブ・児童館等のイベント	<input type="checkbox"/> その他 ()		

支援活動の概要紹介

わかりやすくキャッシュレス決済のしくみや特徴をお伝えし、まさかのトラブルに巻き込まれないよう、安心して安全なキャッシュレスライフを過ごすためのヒントとなるようなプログラムをご用意しています。詳細はプログラム紹介WEBをご確認ください。

対応可能な時期	日程が合えば随時可能 クラス単位で開催をご希望の場合は、同一日程ご調整をお願いいたします。	必要経費	無料
その他 会場・定員・必要備品 などについて	資料を投影できる環境をご用意ください (電子黒板、プロジェクター等)		
連絡先	部署名・担当者	経営企画部サステナビリティ推進室・松枝美雪 (マツエダミユキ)	
	プログラム紹介 WEB	https://www.smbc-card.com/brand/education/index.jsp	
	電話	03-6365-0511	
	e-mail	matsueda.miyuki@smbc-card.com	

プログラム名	特技で夢をかなえる～kaigo というお仕事～		
団体名	NPO 法人未来をつくる kaigo カフェ		区分 講 リ
対象者	<input type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> コ	小学生4～6年、中学生・高校生は全年齢対象	対象分野 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 学外 <input type="checkbox"/> 研修 主に学校の授業で活用できるプログラム。その他分野も応相談

プログラムのねらい

地域での助け合いがますます必要となる中で、日頃から地域社会と接点をもつことや異なる価値観を理解することが求められています。立場の異なる様々な人とコミュニケーションが必要な介護は気づきの宝庫です。介護を切り口に「多様性の時代」を生き抜くヒントを共に考える出張授業を行います。介護に関わる職や魅力、コミュニケーション、つながりを通じた「気づき」を紹介し、多様な人達が「豊かな人生」を送るためのヒントを考える授業です。

プログラムの内容 必要コマ数 1～2コマ

■プログラムの流れ

- ①導入 (5分)
自己紹介
本日の流れの説明
- ②講義 (15分)
介護ってなんだろう？概念やこれまでの歴史、役割について等解説
介護の仕事についたきっかけややりがいを紹介 (講師1～3名)

介護と多様性 共生社会の事例について紹介 (20分)
- ③個人ワークとグループワーク (30分)
※テーマ、時間配分等は、1コマか2コマの場合かによって学校と相談して決めます。
- ④まとめ (15分)
発表とまとめ



令和4・5年度実績	<input checked="" type="checkbox"/> 小学校 <input checked="" type="checkbox"/> 中学校 <input checked="" type="checkbox"/> 高校 <input type="checkbox"/> 特別支援学校 <input type="checkbox"/> その他 () 令和4年度実績 (都内) 5校 (回) 令和5年度実績 (都内) 5校 (回)
	<input type="checkbox"/> 教科 () <input checked="" type="checkbox"/> 道徳 <input checked="" type="checkbox"/> 総合的な学習の時間 <input type="checkbox"/> 特別活動 (クラブ活動、生徒会活動等) <input type="checkbox"/> 教育課程外 (放課後子供教室、夏休み等の長期休業期間等) <input type="checkbox"/> 教員対象研修 <input type="checkbox"/> PTA等保護者対象研修 <input type="checkbox"/> 学童クラブ・児童館等のイベント <input type="checkbox"/> その他 ()

支援活動の概要紹介

当法人では、子供達が介護を身近に知ること、自分に何が出来るか？を見出すヒントを得てもらうことを目的としており、主に小中高生を対象として、介護や多様性を伝える取組を行なっています。上記のプログラム以外にも、認知症や介護ロボット、ヤングケアラー当事者にまつわるプログラム等様々ありますのでご相談ください。

対応可能な時期	日程が合えば随時可能	必要経費	要相談 (実費等) 可能であれば、交通費を希望。
その他 会場・定員・必要備品 などについて	プロジェクター・スクリーン		
連絡先	部署名・担当者	代表 高瀬比左子	
	プログラム紹介 WEB		
	電話	090-3908-3892	
	e-mail	info@kaigocafe.com	

プログラム名	職業人なりきりインタビューゲーム		
団体名	NPO 法人夢さがしプロジェクト	区分	講 教
対象者	<input type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> こ <input type="checkbox"/> 他	小学生、中学生、または親子で体験してもらうこともできる。教員対象の研修も可能	対象分野 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 学外 <input type="checkbox"/> 研修

プログラムのねらい

- ①たくさんの職業について知る。ゲームを通して職業意識が高まり、進路指導のきっかけとなる。職場体験の導入にぴったり。
- ②インタビューで楽しく学ぶ。言語活動であるインタビューゲームを通じ、コミュニケーション力と敬語の使い方が見につく。
- ③仕事への興味が深まる。プロ本人のやりがいや苦勞を知ること、仕事への興味が深まる。また金銭教育にもなる。
- ④自分の適性がわかる。職業心理に基づいた適性診断テストで、自分の適性を知ることができる。
- ⑤親子で実施することで仕事について語り合うきっかけとなる。
- ⑥教員向けとしてキャリアプログラムや、アクティブラーニング導入前の研修に有効。

プログラムの内容

必要コマ数 1コマ

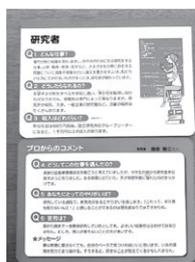
職業人なりきりカードを使用してインタビューを体験するワーク

1. 適性診断テストを実施し、自分に合った職業分野を知る (10分)
2. その分野の中から一人一枚の「職業人なりきりカード」を選ぶ (5分)
3. 敬語の使い方、挨拶など練習する (5分)
4. 二人一組、カードの職業になりきってインタビューに応える (3分×2人)
5. インタビュアー VS 職業人、両方の役割を体験して、気づいたことを発表 (10分)
6. 2回目以降グループワークをしたり、1対多で前に出てきて発表するなど工夫して実施する。

【職業人なりきりカード】

職業情報、なるためには、やりがい、苦勞、などが記載されていて、実際にその仕事のプロの人にインタビューしたメッセージが記載されている。

6種類の適性にわかれていて、全部で60種類のカードがある。



令和4・5年度実績	<input checked="" type="checkbox"/> 小学校 <input checked="" type="checkbox"/> 中学校 <input checked="" type="checkbox"/> 高校 <input type="checkbox"/> 特別支援学校 <input checked="" type="checkbox"/> その他（親子で体験）	令和4年度実績（都内） 2校（回）	令和5年度実績（都内） 2校（回）
	<input type="checkbox"/> 教科（ ） <input checked="" type="checkbox"/> 道徳 <input checked="" type="checkbox"/> 総合的な学習の時間 <input type="checkbox"/> 特別活動（クラブ活動、生徒会活動等） <input type="checkbox"/> 教育課程外（放課後子供教室、夏休み等の長期休業期間等） <input checked="" type="checkbox"/> 教員対象研修 <input checked="" type="checkbox"/> PTA等保護者対象研修 <input type="checkbox"/> 学童クラブ・児童館等のイベント <input type="checkbox"/> その他（ ）		

支援活動の概要紹介

キャリア教育を通して、子供達の夢さがしの応援をしている。

1. 学校での授業（職業人なりきりインタビューゲーム）
 2. 講演会
 3. 体験イベント など実施。
- 2006年に発足して以来、多数の学校や公共機関に招かれ実施してきた。

対応可能な時期	日程が合えば随時可能 200名まで対応可能 クラスごとに講師1名で対応も可能	必要経費	要相談（実費等） 交通費、教材費、資料代など
その他 会場・定員・必要備品 などについて	教室や体育館、視聴覚室、公民館など 職業カードを置く長机が必要 体育館の場合はマイクも必要		
連絡先	部署名・担当者	菅原亜樹子（代表理事）	
	プログラム紹介 WEB	https://yumesagashi.net/?page_id=16	
	電話	090-2368-4900	
	e-mail	info@yumesagashi.net	

プログラム名	～法律のひろば～ THE 法教育		
団体名	一般社団法人リーガルパーク	区分	講
対象者	<input type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> こ <input type="checkbox"/> 他	対象分野	<input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 学外 <input type="checkbox"/> 研修

プログラムのねらい

授業（講演・セミナー）や体験型学習を通じて、法的なものの見方や考え方を身に付けよう。

プログラムの内容

【模擬裁判】

プログラムの流れ

- ①導入（20分）
自己紹介、団体の紹介
日本にある犯罪の種類、刑法、裁判手続きについて伝言ゲームで伝え話は信用できない、証拠にならないということを体験してもらう
- ②模擬裁判（55分）
リアルな模擬裁判で裁判員、裁判長、検察官、弁護人を体験してもらう。
- ③グループワーク（10分）
被告人の罪責についてのグループワーク
- ④まとめ（15分）
発表とまとめ
・人の記憶や印象はあてにならない→証拠に基いて事実の有無を判断しなければならない
・証拠があやふやで、犯人と断定することにためらいがあるときは被告人を無罪とすべき「疑わしきは被告人の利益に」
・最初から被告人を犯人と決めつけてはならない



令和4・5年度実績	<input checked="" type="checkbox"/> 小学校 <input checked="" type="checkbox"/> 中学校 <input checked="" type="checkbox"/> 高校 <input type="checkbox"/> 特別支援学校 <input checked="" type="checkbox"/> その他（ ） 令和4年度実績（都内） 8校（回） 令和5年度実績（都内） 6校（回）
	<input type="checkbox"/> 教科（ ） <input type="checkbox"/> 道徳 <input checked="" type="checkbox"/> 総合的な学習の時間 <input checked="" type="checkbox"/> 特別活動（クラブ活動、生徒会活動等） <input checked="" type="checkbox"/> 教育課程外（放課後子供教室、夏休み等の長期休業期間等） <input type="checkbox"/> 教員対象研修 <input type="checkbox"/> PTA等保護者対象研修 <input type="checkbox"/> 学童クラブ・児童館等のイベント <input type="checkbox"/> その他（ ）

支援活動の概要紹介

リーガルパークは、初等教育における法教育授業の実施を主な目的として弁護士が立ち上げた団体です。上記プログラム以外にも、現場教員の実施する法教育授業のサポートや、学生（法科大学院等）による法教育授業も行っております。ご希望に応じたプログラムを提供いたしますので、お気軽にお問い合わせください。

対応可能な時期	日程が合えば随時可能	必要経費	要相談（実費等） 可能な限り、交通費を希望。
その他 会場・定員・必要備品 などについて	プロジェクター、スクリーンを用意してください。		
連絡先	部署名・担当者	事務局・担当：庄子奈緒美	
	プログラム紹介 WEB	http://legalpark.jp/	
	電話	03-6408-0616	
	e-mail	mail-info@legalpark.jp	

プログラム名	ワコール ツボミスクール		
団体名	(株) ワコール	区分	講 師 教
対象者	<input type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 他	女子コース：小学4年以上、中学3年生（保護者向け有） 男女共修コース：小学4年生	対象分野 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 学外 <input type="checkbox"/> 研修

プログラムのねらい

科学的データをもとに、成長期における女の子の体型変化や下着の選び方について楽しく学べるプログラムです。ツボミスクールを通じて、からだの成長を前向きに捉えられるようサポートします。

プログラムの内容

必要コマ数 1コマ

【小学生コース】(1コマ 45分)

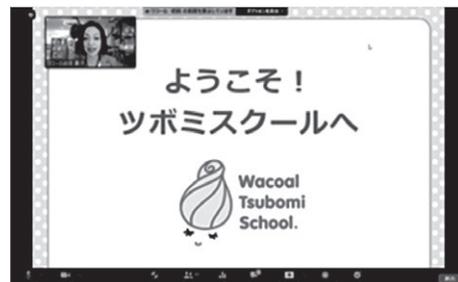
- 第二次性徴と個人差
- 成長にあった下着の選び方
- 下着のサイズ

【中学生コース】(1コマ 50分)

- 第二次性徴と個人差
- 成長にあった下着の選び方
- 下着のサイズ
- 下着のTPO

【保護者・教員コース】(60分)

- 現代の体型特徴
- 成長期の体型変化
- 初経とバストの成長
- 下着選びのポイント



令和4・5年度実績	<input checked="" type="checkbox"/> 小学校 <input checked="" type="checkbox"/> 中学校 <input type="checkbox"/> 高校 <input checked="" type="checkbox"/> 特別支援学校 <input type="checkbox"/> その他 ()	令和4年度実績 (都内) 40校 (回)	令和5年度実績 (都内) 50校 (回)
	<input checked="" type="checkbox"/> 教科 (保健体育ほか) <input type="checkbox"/> 道徳 <input checked="" type="checkbox"/> 総合的な学習の時間 <input checked="" type="checkbox"/> 特別活動 (クラブ活動、生徒会活動等) <input checked="" type="checkbox"/> 教育課程外 (放課後子供教室、夏休み等の長期休業期間等) <input checked="" type="checkbox"/> 教員対象研修 <input type="checkbox"/> PTA等保護者対象研修 <input type="checkbox"/> 学童クラブ・児童館等のイベント <input type="checkbox"/> その他 ()		

支援活動の概要紹介

当協会では、社会貢献を目的としており学校支援プログラムの提供に関して随時相談を受付しています。上記のプログラム以外にも男女共修で受講できるプログラムもありますので、お気軽にお問合せください。

対応可能な時期	日程が合えば随時可能	必要経費	無料
その他 会場・定員・必要備品などについて	・定員 各コース 20名以上 ・必要備品 大型モニターまたはスクリーンなど ※講師派遣型、オンライン型どちらも対応しています。詳しくはツボミスクール HP をご覧ください。		
連絡先	部署名・担当者	ツボミスクール運営事務局 担当：上地 (うえち)	
	プログラム紹介 WEB	https://www.wacoal.jp/demae-school/course/tsubomi/	
	電話	03-3239-1117	
	e-mail	tsubomi@wacoal.co.jp	